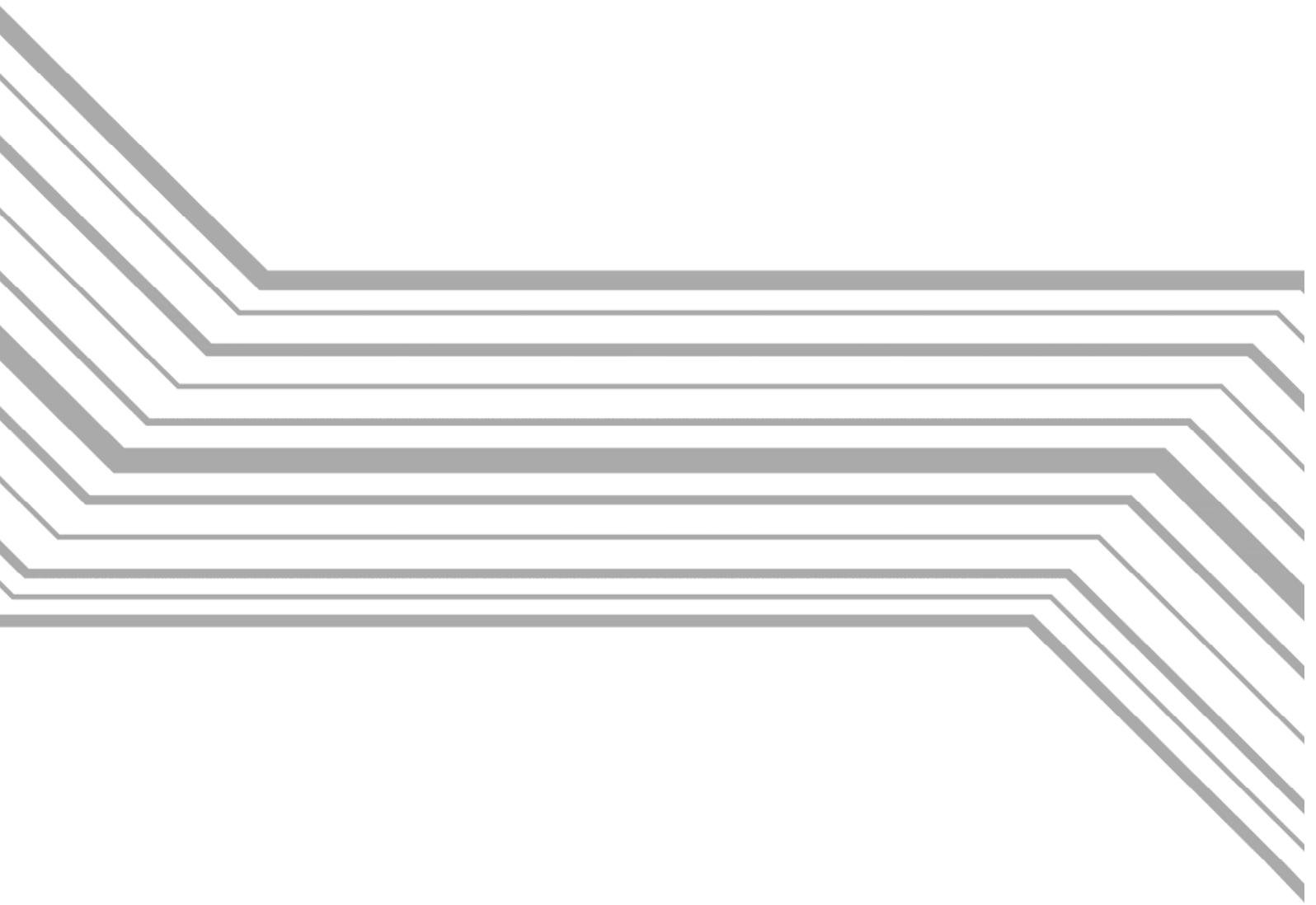


**DENSO**



BHT Software  
**Easy Pack Ad for BHT-900**

---

User's Manual  
取扱説明書

Copyright © 2010 DENSO WAVE INCORPORATED. All Rights Reserved.

このマニュアルの著作権は、株式会社デンソーウェーブにあります。

「BHT」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社や製品は、一般に各社の商標または登録商標です。尚、本文中では、™、®マークはすべてについては明記していません。

# 目次

1. はじめに	- 1 -
1.1. 特徴	- 1 -
2. 問合せ	- 2 -
2.1. 最新情報の入手先	- 2 -
3. 製品仕様	- 2 -
3.1. PC環境	- 2 -
3.2. 製品および運用構成	- 2 -
4. 準備	- 5 -
4.1. 【STEP1】 BHT-900 の準備	- 6 -
4.2. 【STEP2】 デフォルト業務の使用方法	- 7 -
4.2.1. 初回起動時～業務メニューまで	- 7 -
4.2.2. 実績収集業務	- 9 -
4.2.2.1. データ収集作業手順	- 9 -
4.2.2.2. 実績ファイルの取得	- 12 -
4.2.3. 1:1 照合業務	- 13 -
4.2.3.1. 照合作業手順	- 13 -
4.2.4. 1:n照合業務	- 15 -
4.2.4.1. 照合作業手順	- 15 -
4.3. 【STEP3】 PC側ツールのインストール	- 17 -
4.3.1. 自動インストール（初心者向け【推奨】）	- 18 -
4.3.2. 個別インストール（上級者向け）	- 19 -
4.4. 【STEP4】 設定ツール の使用方法	- 20 -
4.4.1. 設定ツールとは	- 20 -
4.4.2. 設定ツールの説明	- 21 -
4.4.2.1. 業務ツリー	- 23 -
4.4.2.2. 業務ツリーボタン	- 26 -
4.4.2.3. プロパティエリア	- 27 -
4.4.3. 業務ファイルの読み込み	- 33 -
4.4.4. 業務ファイルの保存	- 37 -
4.5. 【STEP5】 ファイル転送ツールの使用方法	- 38 -
4.5.1. ファイル転送ツールとは	- 38 -
4.5.2. ファイル転送ツールの説明	- 38 -
4.5.3. ポート自動設定について	- 41 -
5. その他の機能	- 43 -
5.1. BHTアプリ管理者メニュー	- 43 -
5.1.1. 実績ファイル削除	- 44 -
5.1.2. 通信設定	- 47 -
5.1.3. バージョン情報	- 49 -
5.1.4. 日付設定	- 50 -
5.2. 通信メニュー	- 51 -
6. トラブルシューティング	- 53 -
6.1. BHT側アプリ(業務アプリ)でのエラー	- 53 -
6.2. 設定ツールでのエラー	- 54 -
6.3. ファイル転送ツールでのエラー	- 55 -
7. アンインストール	- 58 -
8. 付録	- 59 -
8.1. ファイル転送ツールの例外エラー	- 59 -
8.2. 業務ファイルについて	- 60 -

## 1. はじめに

このマニュアルは、BHT-900 シリーズ用の簡易業務ソフト「Easy Pack Ad for BHT-900」の取扱説明書です。

### 1.1. 特徴

「Easy Pack Ad for BHT-900」の特徴は、以下の通りです。

- BHT-900 には、出荷時に以下の業務がデフォルトとして準備しているため、BHT-900 を開梱後、すぐに運用ができます。
  - 実績収集 : 品番と個数の入力を繰り返し、その入力データを、実績ファイル”JISSEKI.CSV”に保存します。
  - 1:1 照合 : 2つのデータを順次読み取り、照合します。  
入力データおよび照合結果は保存されません。
  - 1:n 照合 : 1つのマスタデータに対して、データの読み取りと照合を繰り返します。  
入力データおよび照合結果は保存されません。
- BHT-900 と PC (パソコン) を直接 USB ケーブルで接続し、Windows エクスプローラのドラッグ&ドロップ機能で、任意のフォルダに実績ファイルを取得できます。
- BHT と PC (パソコン) を通信ユニット (CU-901 および CU-921) で接続し、Easy Pack Ad 専用のファイル転送ツールを経由して、Windows エクスプローラのドラッグ&ドロップ機能で、任意のフォルダに実績ファイルを取得できます。
- PC 上で、上記のデフォルト業務を Easy Pack Ad for BHT-900 専用の設定ツールを使って編集できます。編集した業務ファイルを BHT に送り込むことで、作成した業務で作業できます。また、設定ツールでは、「実績収集」「1:1 照合」「1:n 照合」業務をベースとした新しい業務を作成できます。

## 2. 問合せ

### 2.1. 最新情報の入手先

「Easy Pack Ad for BHT-900」の最新情報は、下記 URL をご覧ください。

<http://www.denso-wave.com/>

また、QBdirect にご登録いただくと、使用方法など、より詳細なご質問をしていただくことが出来ますので、ご利用ください。

<http://www.qbdirect.net/>

## 3. 製品仕様

### 3.1. PC 環境

「Easy Pack Ad for BHT-900」を使用するには、以下の要件を満たした PC を準備してください。

OS	Windows XP (32bit 版)※1、Windows Vista (32bit 版) Windows 7 (32bit 版/64bit 版)
.NET	.NET Framework 2.0 SP2 以降

※ 最新の OS 対応状況は、弊社ホームページをご覧ください。

※1. BHT と PC を直接 USB ケーブルで接続して、BHT とファイル転送する場合、Windows Media Player 11 以降が必要です。

BHT と PC との間でファイル転送をおこなうため、以下のハードウェアが必要になります。

PC ハードウェア	USB ポート (※2) or RS-232C COM ポート(※3)
ケーブル	USB ケーブル (USB(A)オスーUSB(mini-B)オス)(※2) or RS-232C ケーブル(9pin クロスケーブル) (※3)
通信ユニット	CU-901(RS-232C) CU-921(USB)

※2. BHT と PC を直接 USB ケーブルで接続、または、通信ユニット(CU-921)を使用して接続する場合に必要です。

※3. 通信ユニット(CU-901)を使用する場合に必要です。

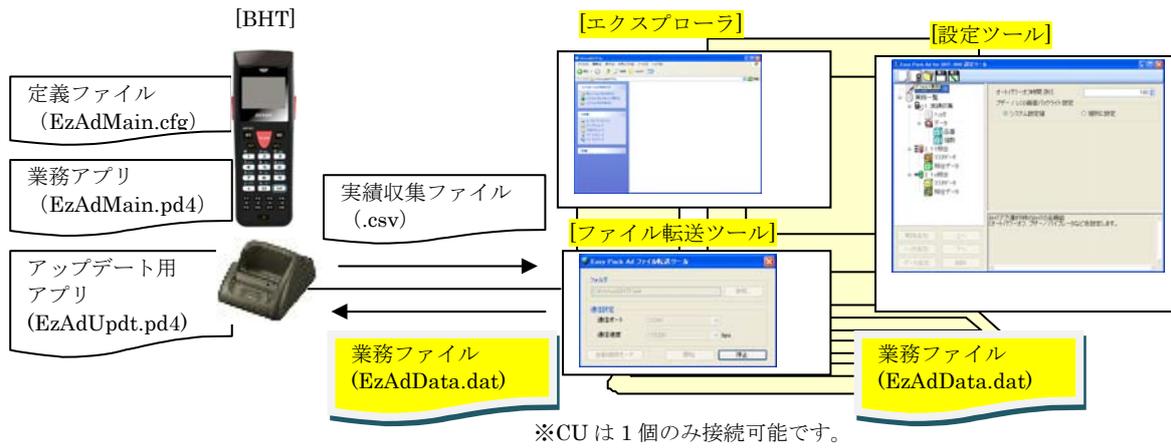
### 3.2. 製品および運用構成

「Easy Pack Ad for BHT-900」は、以下の製品構成となっています。

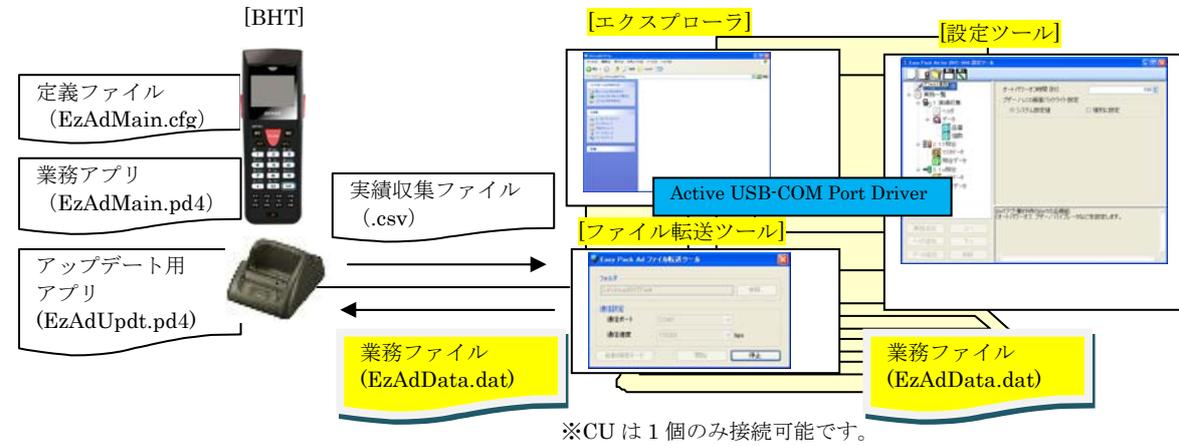
ファイル名	使用場所	概要	説明
EzAdMain.pd4	BHT	業務アプリ	デフォルト業務情報およびユーザが設定した業務設定ファイルを読み込んで、業務を実行する BHT アプリケーション。 <b>(BHT-900 出荷時にプリインストール済み)</b>
EzAdUpdt.pd4	BHT	アップデート用アプリ	業務アプリ、定義ファイルおよび業務設定ファイルを更新するための、BHT アプリケーション。

<b>EzAdMain.cfg</b>	BHT	定義ファイル	(BHT-900 出荷時にプリインストール済み) 業務アプリで使用するキーガイドランスなど、固有情報が登録されたファイル。 (ユーザ編集不可) (BHT-900 出荷時にプリインストール済み)
<b>EzAdData.dat</b>	PC BHT	業務ファイル	ユーザが設定ツールで、業務に関する情報を作成および保存したファイル。 BHT に転送して使用する。
<b>EzAdSetting.exe</b>	PC	Easy Pack Ad for BHT-900 設定ツール	BHT に出荷時インストールされているデフォルト業務を編集したり、新規に業務を作成したりするツール。
<b>EzAdTrans.exe</b>	PC	Easy Pack Ad ファイル転送ツール	BHT 上で収集した実績したファイルを PC に転送したり、業務ファイルを BHT に転送したりするツール。

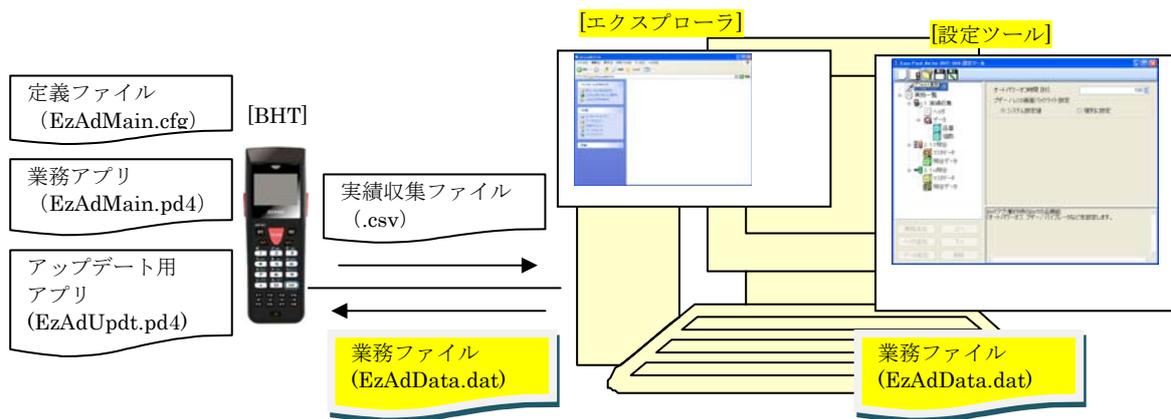
■BHT と PC を CU-901(RS-232C)で接続する場合



■BHT と PC を CU-921(USB)で接続する場合

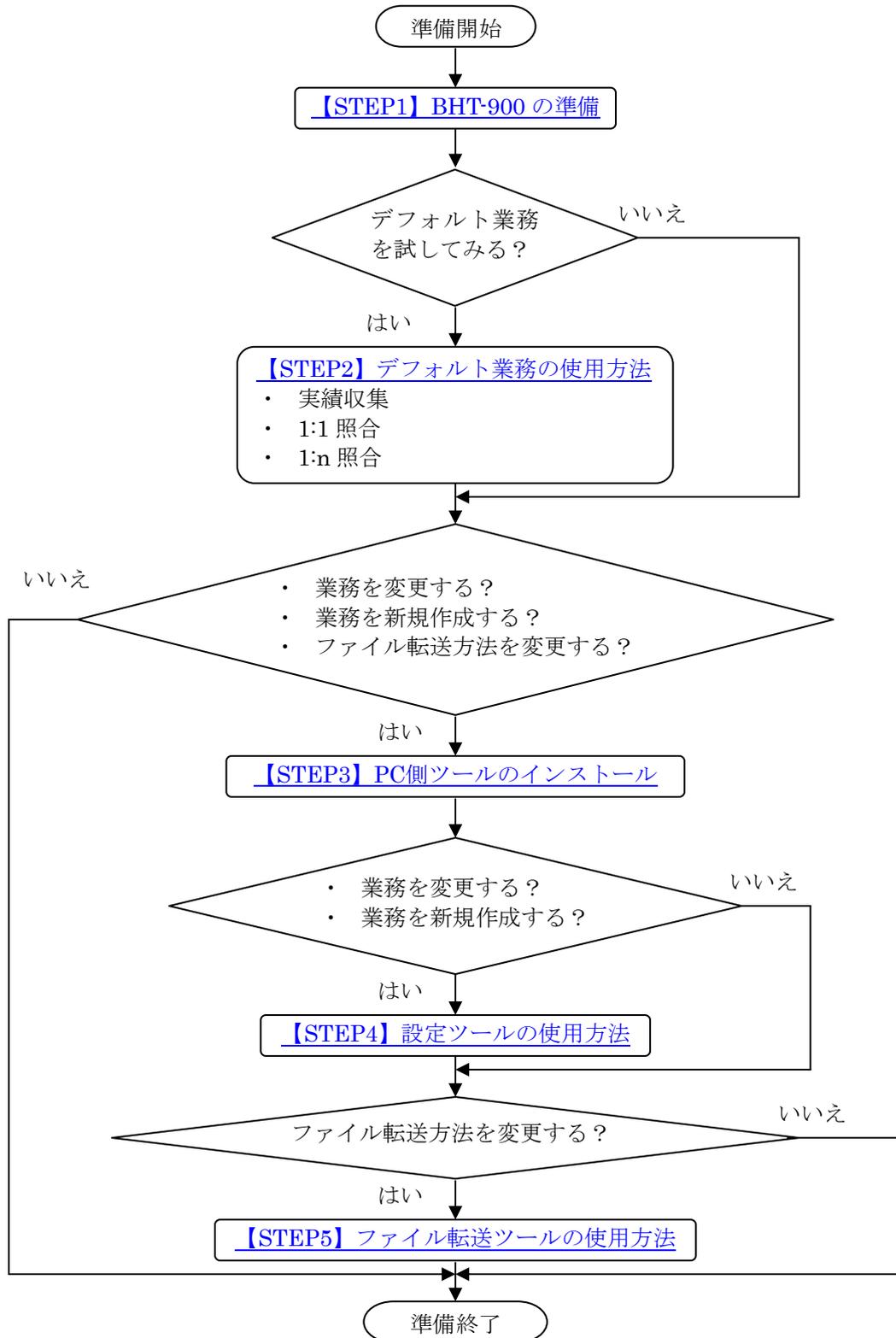


■BHT と PC を USB ケーブルで直接接続する場合



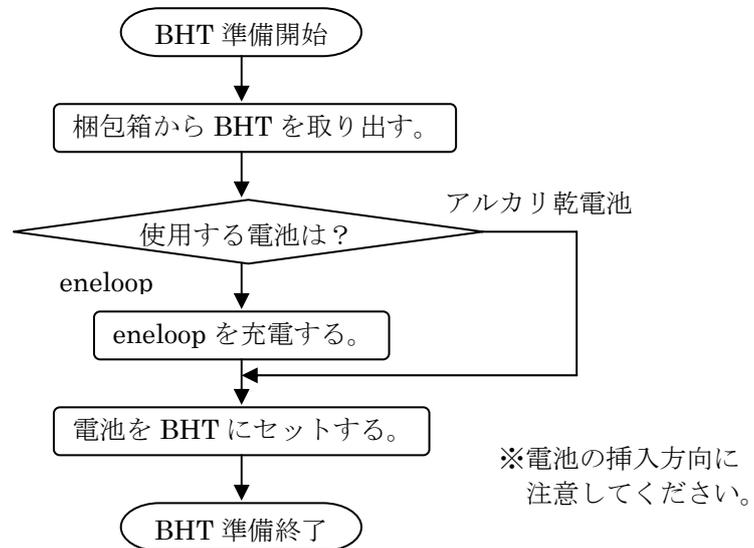
## 4. 準備

「Easy Pack Ad for BHT-900」を使用するには、以下のような流れになります。



#### 4.1. 【STEP1】 BHT-900 の準備

BHT-900 操作ガイドまたは、取扱説明書に従い、BHT が起動できる状態にしてください。  
BHT の準備は、以下のような流れになります。

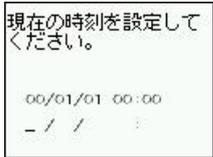
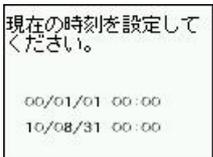
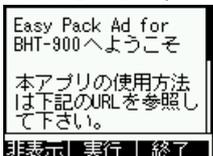


## 4.2. 【STEP2】 デフォルト業務の使用法

### 4.2.1. 初回起動時～業務メニューまで

#### ■業務アプリ起動

初回起動時の「Easy Pack Ad for BHT-900」の使用法は、以下の手順になります。

手順			
(1)	電源キーを押し、BHT の電源をオンします。		以下の画面が表示されます。(※1) 
(2)	日付・時刻を数字キーで入力します。  <b>Point</b> 日年は西暦の下 2 桁、時刻は 24 時間表示で入力します。	数字キー	
(3)	エンターキーを押し、日付・時刻を設定します。	[ENT]	日付・時刻が設定されると、以下の画面が表示されます。 
(4)	数字キーの[1]を押し、画面上の「1. Easy Pack Ad」を選択し、エンターキーを押しします。	[1] [ENT]	以下の画面が表示されます。 
(5)	スキャンキーを押し、「Easy Pack Ad for BHT-900」を起動します。  <b>Point</b> [M1]キーを押すと、スキャンキーと同様に「Easy Pack Ad for BHT-900」が起動しますが、次回から上記(4)の画面は表示しません。 ([SCAN]キーの場合、次回起動時、再度(4)の画面が表示されます。) [M2]キーを押すと電源オフします。		以下の画面が表示されます。   Easy Pack Ad for BHT-900 の情報の読み込みが完了すると、以下の画面が表示されます。 

※1. すでに日時が設定されている場合、上記(3)が表示されます。

### ■キーガイドンス表示

業務アプリでは、[F1]キーを押すとキーガイドンスメニューが表示されます。  
キー操作が分からなくなったときに便利です。

すべての情報を表示するには、[F5]キー、[F6]キーで画面をスクロールしてください。  
[M2]キーを押すと、キーガイドンス表示を終了し、キーガイドンスを表示した画面に戻ります。

例) 業務メニューのキーガイドンス

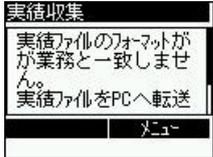
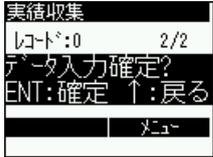


## 4.2.2. 実績収集業務

### 4.2.2.1. データ収集作業手順

#### ■データ収集作業

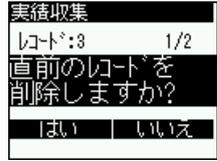
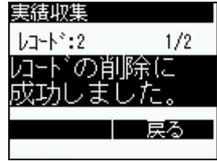
実績収集業務の、データ収集作業手順は、以下の通りです。

手順		
(1)	「Easy Pack Ad for BHT-900」を起動します。	以下の画面が表示されます。 
(2)	数字キーの[1]を押して、画面上の「1.実績収集」を選択した状態で、エンターキーを押します。	以下の画面が表示されます。  <u>Point</u> 他の業務で、既の実績ファイルが使用されている場合、以下の警告画面が表示されます。警告画面が表示されるとき、 <b>赤LED</b> が点灯し、ブザーが高音で「ピッピッピッ」と鳴動します。  実績ファイルを PC に転送後、実績ファイルを削除し、業務を再開してください。
(3)	スキャンキーを押して、バーコードを読み取り、品番を入力します。入力は自動で確定されます。 例：“4912345678904”のバーコード  <u>Point</u> 数字キーを使用して、品番の入力もできます。その場合、エンターキーで押して、入力を確定します。	 入力が確定すると、以下の画面が表示されます。  <u>Point</u> 入力確定時、 <b>青LED</b> が点灯し、ブザーが高音で「ピッ」と鳴動します。入力データに不備がある場合、 <b>赤LED</b> が点灯し、ブザーが低音で「ピッピッピッ」と鳴動します。
(4)	数字キーを使用して、個数を入力します。エンターキーを押して、入力を確定します。 例：20	入力が確定すると、以下の画面が表示されます。 

<p>(5) エンターキーを押して、品番、数量の入力を繰り返します。</p> <p><u>Point</u> エンターキーを押す前に、方向キー([F5]キー、[F6]キー)を押すことで、品番、個数の値を確認できます。また、値の変更もできます。 収集データの確定は、(4)の画面に戻って、エンターキーを押してください。</p> <p><u>Point</u> 日付が、自動で収集データに付加されます。データフォーマットは、次の通りです。 "年月日(yymmdd)","品番","個数" (例) "100824","4912345678904","20"</p>	<p>[ENT]</p>	<p>エンターキーを押すと、以下の画面が表示されます。</p>  <p>以降、(3)~(5)を繰り返し、実績収集をします。</p> <p><u>Point</u> 入力確定時、<b>青LED</b>が点灯し、ブザーが高音で「ピッピッ」と鳴動します。</p>
---	--------------	---

## ■レコード削除

データ入力確定後、直前の入力レコードを削除することができます。  
レコード削除手順は、以下の通りです。

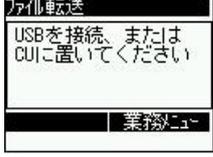
手順			
(1)	データ入力確定後、画面上に「レコード削除」のメニューがある場合、直前の入力レコードを削除できます。 (業務開始直後には、「レコード削除」は表示されません。データ収集後に表示されます。また、レコード削除直後にも表示されません。)		
(2)	[M1]キーを押します。	[M1]	以下の画面が表示されます。 
(3)	直前の入力レコードを削除する場合、[M1]キーを押します。	[M1]	レコードが削除され、以下の画面が表示されます。  <p><u>Point</u> レコード削除が完了すると、<b>青LED</b>が点灯し、ブザーが高音で「ピッピッ」と鳴動します。</p>
	レコード削除を中止する場合、[M2]キーを押します。	[M2]	レコード削除が中止され、以下の画面が表示されます。 
(4)	レコード削除が完了したら、[M2]キーを押します。	[M2]	以下の画面が表示されます。  <p><u>Point</u> 画面上のレコード件数が減ります。 レコード削除直後には、「レコード削除」は表示されません。</p>

## ■業務メニューへ戻る

実績業務中に[M2]キーを押すことで、業務メニューに戻ります。

#### 4.2.2.2. 実績ファイルの取得

BHT で収集した実績ファイルを PC に取得する手順は、以下の通りです。

手順		
(1)	<p>「Easy Pack Ad for BHT-900」を起動します。</p> <p><u>Point</u> 実績収集中の場合、[M2]キーを押すことで、業務メニューに戻ります。</p>	<p>以下の画面が表示されます。</p> 
(2)	<p>[M1]キーを押します。</p>	<p>[M1]</p> <p>以下の画面が表示されます。</p> 
(3)	<p>BHT と PC を USB ケーブルで接続します。</p> <p><u>Point</u> 通信ユニットを使用することもできます。 通信ユニットを使用するには、PC 側アプリをインストールする必要があります。 PC 側ツールのインストールは、「<a href="#">【STEP3】PC側アプリのインストール</a>」を参照ください。</p>	<p>以下の画面が表示されます。</p> 
(4)	<p>PC 上にフォルダが開かれます。 開かれたフォルダから"JISSEKI.CSV"を取得してください。</p>	

## 4.2.3. 1:1 照合業務

### 4.2.3.1. 照合作業手順

1:1 照合業務の照合作業手順は、以下の通りです。

手順		
(1)	「Easy Pack Ad for BHT-900」を起動します。	以下の画面が表示されます。 
(2)	数字キーの[2]を押して、画面上の「2.1:1照合」を選択した状態で、エンターキーを押します。	[2] [ENT] 以下のマスターデータ入力画面が表示されます。 
(3)	スキャンキーを押して、バーコードを読み取り、マスターデータを入力します。入力は自動で確定されます。例：“4912345678904”のバーコード	 入力が確定すると、以下の画面が表示されます。  <u>Point</u> 入力確定時、 <b>青LED</b> が点灯し、ブザーが高音で「ピッ」と鳴動します。 入力データに不備がある場合、 <b>赤LED</b> が点灯し、ブザーが高音で「ピッピッ」と鳴動します。

<p>(4)</p>	<p>スキャンキーを押して、バーコードを読み取ります。          マスタデータと一致する場合は、「照合 OK」、一致しない場合は、「照合 NG」を表示します。</p> <p><u>Point</u>          入力データおよび照合結果は保存されません。</p>		<p>照合 OK の場合、以下の画面が表示されます。</p>  <p><u>Point</u>  <b>青 LED</b> が点灯し、ブザーが高音で「ピーッ」と鳴動します。</p> <p><u>Point</u>          照合 NG の場合、<b>赤 LED</b> が点灯し、ブザーが低音で「ピーッピーッピーッ…」と鳴り続けます。</p>  <p>[M2]キーを押すと、ブザーの鳴動を停止し、以下の画面を表示します。</p>  <p>以降、(3)~(4)を繰り返し、1:1 照合を繰り返します。</p>
<p>(5)</p>	<p>[M2]キーを押すことで、業務メニューに戻ります。</p>	<p>[M2]</p>	<p>以下の画面が表示されます。</p> 

## 4.2.4. 1:n 照合業務

### 4.2.4.1. 照合作業手順

1:n 照合業務の照合作業手順は、以下の通りです。

手順		
(1)	「Easy Pack Ad for BHT-900」を起動します。	以下の画面が表示されます。 
(2)	数字キーの[3]を押して、画面上の「2.1:n照合」を選択した状態で、エンターキーを押します。	以下のマスターデータ入力画面が表示されます。 
(3)	スキャンキーを押して、バーコードを読み取り、マスターデータを入力します。入力は自動で確定されます。 例：“4912345678904”のバーコード	 入力が確定すると、以下の画面が表示されます。  <u>Point</u> 入力確定時、 <b>青LED</b> が点灯し、ブザーが高音で「ピッ」と鳴動します。 入力データに不備がある場合、 <b>赤LED</b> が点灯し、ブザーが高音で「ピッピッ」と鳴動します。

<p>(4)</p>	<p>スキャンキーを押して、バーコードを読み取ります。          マスタデータと一致する場合は、「照合 OK」、一致しない場合は、「照合 NG」を表示します。</p> <p><u>Point</u>          入力データおよび照合結果は保存されません。</p>		<p>照合 OK の場合、以下の画面が表示されます。</p>  <p><u>Point</u>  <b>青 LED</b> が点灯し、ブザーが高音で「ピーッ」と鳴動します。</p> <p><u>Point</u>          照合 NG の場合、<b>赤 LED</b> が点灯し、ブザーが低音で「ピーッピーッピーッ…」と鳴り続けます。</p>  <p>[M2]キーを押すと、ブザーの鳴動を停止し、以下の画面を表示します。</p>  <p>以降、(4)を繰り返し、1:n 照合を行います。</p>
<p>(5)</p>	<p>[M1]キーを押すと、マスタデータの入力に戻ります。</p>	<p>[M1]</p>	<p>以下のマスタデータ入力画面が表示されます。</p> 
<p>(6)</p>	<p>[M2]キーを押すと、業務メニューに戻ります。</p>	<p>[M2]</p>	<p>以下の画面が表示されます。</p> 

### 4.3. 【STEP3】 PC 側ツールのインストール

「LAUNCHER.EXE」を実行し、画面の指示に従ってインストールしてください。

インストールは、管理者権限を持つユーザでログインして実施してください。  
注意事項: Windows の権限に関する詳細につきましては、Microsoft 社の HP などを確認してください。

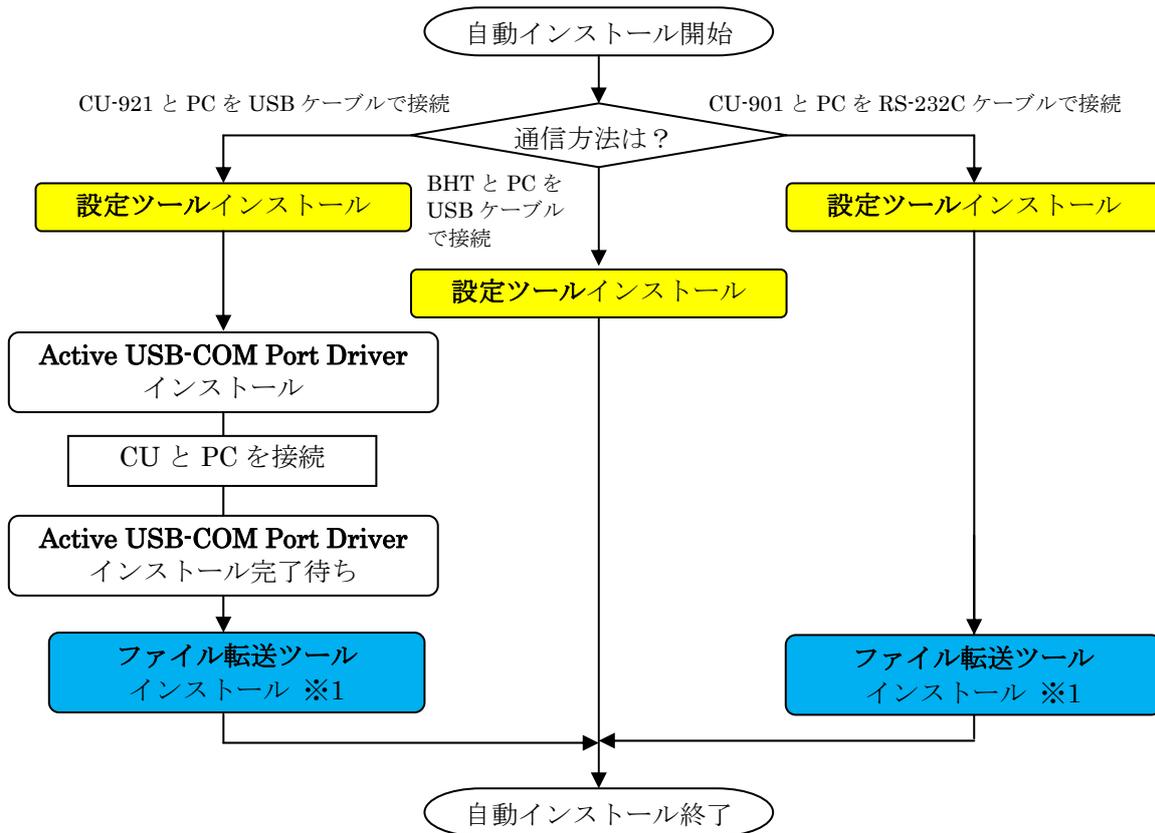
インストール方法は、以下の 2 通りがあります。

- 自動インストール（初心者向け、推奨）
- 個別インストール（上級者向け）

以下に示す、手順に従って、インストールを実施してください

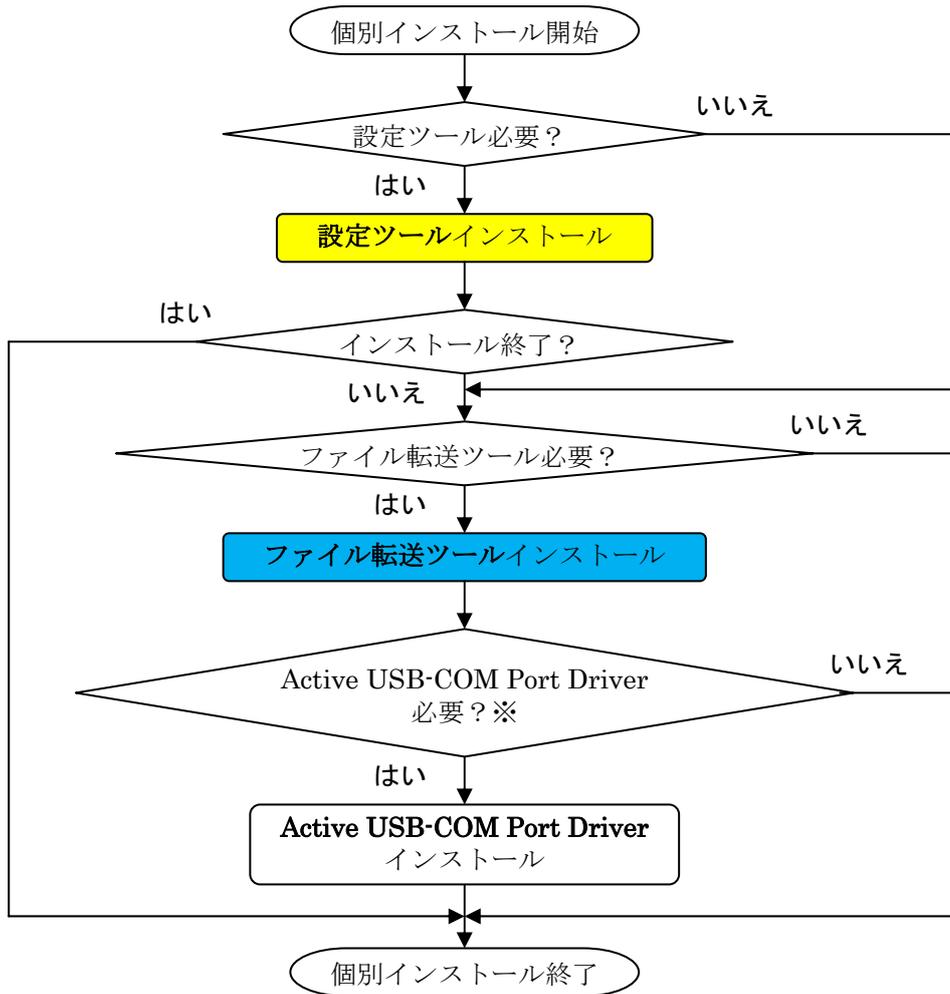
注意事項: PC側ツールのアンインストール方法は、「[7. アンインストール](#)」を参照してください。

#### 4.3.1. 自動インストール（初心者向け [推奨]）



※1. ファイル転送ツールのインストール後、BHT とファイル転送ツールの間で使用する通信ポート、通信速度の設定を行います。  
インストール画面に従って、通信ポート、通信速度を設定してください。

#### 4.3.2. 個別インストール（上級者向け）



※1.1 CU-921(USB)を使用する場合に必要です。

## 4.4. 【STEP4】設定ツール の使用方法

「Easy Pack Ad for BHT-900 設定ツール」は、BHT に出荷時にインストールされているデフォルト業務を編集したり、新規に業務を作成したりするツールです。

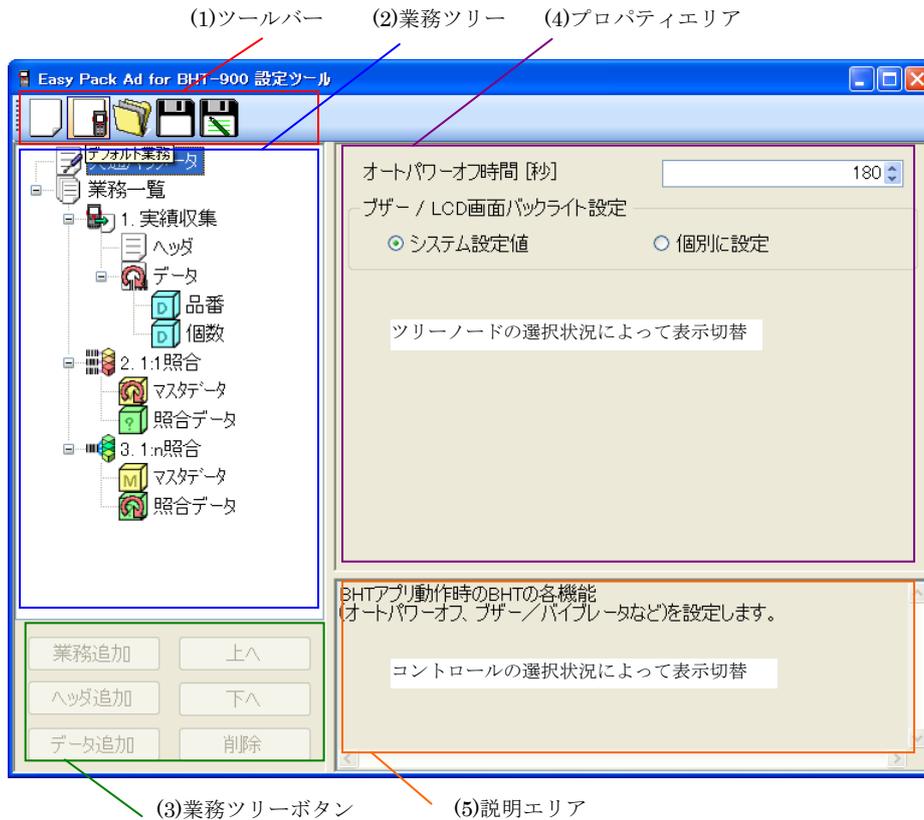
「Easy Pack Ad for BHT-900 設定ツール」は、BHT-900 専用ツールです。

### 4.4.1. 設定ツールとは

設定ツールでは、以下のパラメータおよび業務を設定できます。

- (1) 共通パラメータ設定  
オートパワーオフ時間、ブザー／バイブレータ、LCD の設定ができます。
- (2) 実績収集業務  
品番、個数などのデータ項目の入力を繰り返し、実績ファイルに保存します。  
また、担当者情報などのヘッダ項目の入力を追加できます。
- (3) 1:1 照合業務  
2つのデータを順次読み取り、照合します。  
(入力データおよび照合結果は保存されません。)
- (4) 1:n 照合業務  
1つのマスタデータに対して、データの読み取りと照合を繰り返します。  
(入力データおよび照合結果は保存されません。)

#### 4.4.2. 設定ツールの説明



- (1) ツールバー  
業務ファイルに対する操作(新規作成／開く／保存／…)を実行するボタン群です。
- (2) 業務ツリー  
業務の構成をツリー形式で表示します。
- (3) 業務ツリーボタン  
業務ツリーに対する操作(業務追加／ヘッダ追加／…)を実行するボタン群です。
- (4) プロパティエリア  
業務ツリーの各項目を選択したときに、その情報のパラメータを表示するエリアです。
- (5) 説明エリア  
業務ツリーの選択や、プロパティのパラメータを選択したときに、その詳細な説明を表示するエリアです。

業務ファイルに対する操作を実行するボタン群です。

ボタン	詳細
 (業務ファイル新規作成)	新しい業務ファイルを作成します。 業務として、3 業務をベースした仮の業務を表示します。 仮の業務は、以下の「参考：新規作成時の業務」を参照してください。
 (デフォルト業務作成)	BHT の出荷時にインストールされているデフォルト業務パターンを表示します。 上記のデフォルト業務をベースに変更する場合、ここから編集すると便利です。
 (業務ファイルを開く)	既存の業務ファイルを開きます。
 (業務ファイルを上書き保存)	編集された業務を、業務ファイルに保存します。 新規作成の場合、保存ファイル名を確認します。(名前を付けて保存と同じ。)
 (業務ファイルに名前を付けて保存)	編集された業務に名前を付けて保存します。 ※ 業務ファイルを保存するときのファイル名は、自由に指定できますが、BHT に業務ファイル名を送るときは、「EzAdData.dat」にする必要があります。

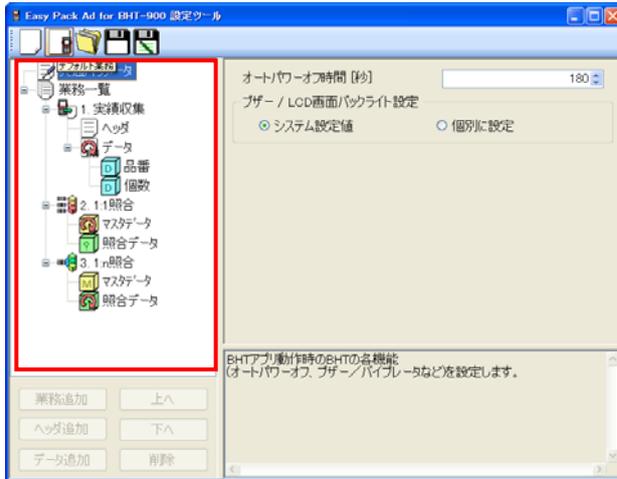
【参考：新規作成時の業務】

業務ファイルを新規作成時の各パラメータの値は、以下の通りです。

業務ツリー	パラメータ	設定値	
共通パラメータ	オートパワーオフ時間	180 秒	
	ブザー／ LCD 画面バックライト設定	システム設定値	
業務	実績収集業務 1	自動日時付加	年月日(YYMMDD)
	ヘッダ 1	入力手段	バーコード／キー
		読み取りコード	全コード
		重複登録	許可
		入力最小桁数	1
		入力最大桁数	99
		アドオンコード読み取り	禁止
		チェックデジット確認	しない
		スタートキャラクタ確認	?
		ストップキャラクタ確認	?
	データ 1	※ヘッダ 1 と同じ	
	データ 2	※ヘッダ 1 と同じ	
	1:1 照合 1		
	マスタデータ	アドオンコード読み取り	禁止
		チェックデジット確認	しない
	照合データ	※変更不可。必ずマスタデータと同じ設定になります。	
	1:n 照合 1		
マスタデータ	※1:1 照合 1 のマスタデータと同じ		
	照合データ	※変更不可。必ずマスタデータと同じ設定になります。	

#### 4.4.2.1. 業務ツリー

業務の構成をツリー形式で表示します。



業務ツリーの各項目を選択すると、プロパティエリアに各項目のパラメータが表示されます。また、説明エリアに、選択した項目の説明が表示されます。

業務ツリー項目	詳細
共通パラメータ	BHT アプリ動作時の BHT の各機能(オートパワーオフ、ブザー/バイブレータなど)を設定します。
業務一覧	<p>業務一覧を表示します。</p> <p>Easy Pack Ad for BHT-900 では、以下の業務をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績収集業務 (例：棚卸、検品など)</li> <li>・1:1 照合 (例：ポカよけなど) ※</li> <li>・1:n 照合 (例：異品チェックなど) ※</li> </ul> <p>※1:1 照合業務、1:n 照合業務は、読み取りデータを保存しません。</p> <p>業務の追加は、[業務追加]ボタンを押してください。 業務は、最大 10 件まで追加できます。</p>

<p><b>x.[実績収集業務] ※1 ※2</b></p>	<p>実績収集業務について</p> <p>実績収集業務では、バーコード読み取り、または、キー入力を繰り返し、入力データの実績ファイルへの保存を行います。</p> <p>実績収集業務で設定できるパラメータを表示します。各パラメータの詳細については、設定時に表示される説明を参照ください。</p>
<p><b>ヘッダ</b></p>	<p>ヘッダについて</p> <p>ヘッダとは、収集データに付加する情報(作業者 ID、棚番など)として、実績ファイルに保存される項目です。</p> <p>ヘッダは、データと異なり、データ入力を繰り返し行いません。(業務開始時、一度だけデータ入力を行います。)</p> <p>ヘッダ項目がある場合、実績ファイルにデータを保存するときに、データ項目の入力データの前に追加されます。</p> <p>ヘッダ項目の追加は、[ヘッダ追加]ボタンを押してください。ヘッダ項目は、最大 10 件まで追加できます。</p> <p>[設定例] 「誰がどこの棚のデータを収集したかを後で確認したい。」</p> <p>○ヘッダ項目 1 ヘッダ項目名 「作業者 ID」 入力手段 「バーコード読み取り」</p> <p>○ヘッダ項目 2 ヘッダ項目名 「棚番」 入力手段 「キー入力」</p>
<p><b>[ヘッダ項目] ※3</b></p>	<p>ヘッダ項目で設定できるパラメータを表示します。各パラメータの詳細については、設定時に表示される説明を参照ください。</p>
<p><b>データ</b></p>	<p>データについて</p> <p>データとは、実際に収集したいデータ(品番、個数など)として、実績ファイルに保存される項目です。</p> <p>データは、データ入力を繰り返し行うことができます。</p> <p>データ項目の追加は、[データ追加]ボタンを押してください。データ項目は、最大 10 件まで追加できます。</p> <p>[設定例] 「どの品番の製品が何個あるか管理したい。」</p> <p>○データ 1 データ項目名 「品番」 入力手段 「バーコード読み取り」</p> <p>○データ 2 データ項目名 「個数」 入力手段 「キー入力」</p>
<p><b>[データ項目] ※3</b></p>	<p>データ項目で設定できるパラメータを表示します。各パラメータの詳細については、設定時に表示される説明を参照ください。</p>

- ※1. 「x」には、業務番号(順番)が表示されます。  
 ※2. プロパティの[業務名]で指定された名称が表示されます。  
 ※3. プロパティの[項目名]で指定された名称が表示されます。

<b>x. [1:1 照合業務] ※1 ※2</b>	<p>1:1 照合業務について</p> <p>1:1 照合業務では、2つのバーコードを読み取り、データが一致しているかをチェックします。  ※1:1 照合業務では、読み取ったデータを保存しません。</p> <p>読み取り可能なバーコードは以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ POS</li> <li>・ ITF</li> <li>・ STF</li> <li>・ CODABAR(NW-7)</li> <li>・ CODE39</li> <li>・ CODE93</li> <li>・ CODE128</li> <li>・ RSS(GS1 DataBar)</li> </ul> <p>1:1 照合業務で設定できるパラメータを表示します。各パラメータの詳細については、設定時に表示される説明を参照ください。</p>
<b>[マスターデータ] ※4</b>	<p>※「マスターデータ名」を変更する場合は、業務ツリーの「x. [1:1 照合業務]」を選択してください。</p>
<b>照合データ</b>	<p>※照合データには設定できるパラメータはありません。</p>
<b>x. [1:n 照合業務] ※1 ※2</b>	<p>1:n 照合業務について</p> <p>1:n 照合業務では、最初に読み取ったバーコードをマスターデータとし、それ以降に読み取ったバーコードと一致しているかをチェックします。  ※1:n 照合業務では、読み取ったデータを保存しません。</p> <p>読み取り可能なバーコードは以下通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ POS</li> <li>・ ITF</li> <li>・ STF</li> <li>・ CODABAR(NW-7)</li> <li>・ CODE39</li> <li>・ CODE93</li> <li>・ CODE128</li> <li>・ RSS(GS1 DataBar)</li> </ul> <p>1:n 照合業務で設定できるパラメータを表示します。各パラメータの詳細については、設定時に表示される説明を参照ください。</p>
<b>[マスターデータ] ※4</b>	<p>※「マスターデータ名」を変更する場合は、業務ツリーの「x. [1:n 照合業務]」を選択してください。</p>
<b>照合データ</b>	<p>※照合データには設定できるパラメータはありません。</p>

※1. 「x」には、業務番号(順番)が表示されます。

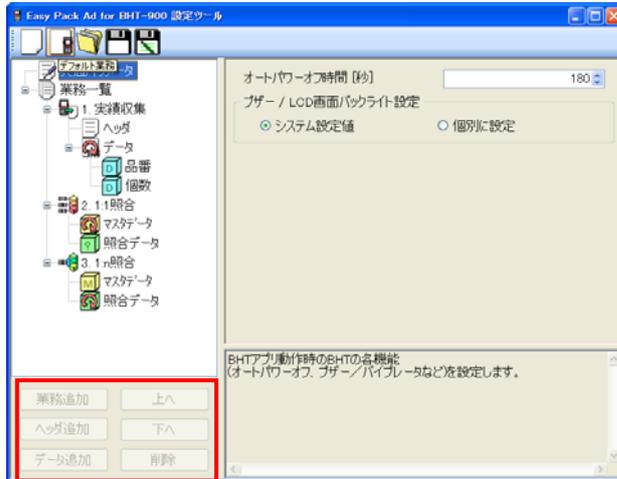
※2. プロパティの[業務名]で指定された名称が表示されます。

※4. プロパティの[マスターデータ名]で指定された名称が表示されます。

([マスターデータ名]は、1:1 照合業務、1:n 照合業務のプロパティに表示されます。)

#### 4.4.2.2. 業務ツリーボタン

業務ツリーに対する操作を実行するボタン群です。

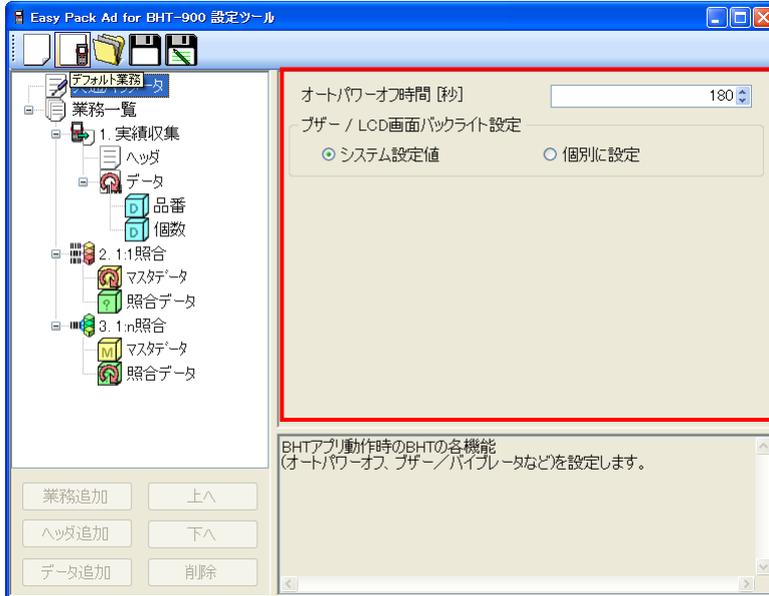


ボタン	詳細
業務追加	<p>新しい業務を追加します。 業務ツリーの「業務一覧」が選択されている状態のみ有効になります。</p> <p>ボタンを押すと、以下のメニューが表示されます。 追加したい業務を選択すると、業務が追加されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実績収集業務</li> <li>・ 1:1 照合業務</li> <li>・ 1:n 照合業務</li> </ul>
ヘッダ追加	<p>実績収集業務にヘッダ項目を追加します。 業務ツリーの実績収集業務の「ヘッダ」が選択されている状態のみ有効になります。</p>
データ追加	<p>実績収集業務にデータ項目を追加します。 業務ツリーの実績収集業務の「データ」が選択されている状態のみ有効になります。</p>
上へ	<p>選択されている業務、ヘッダ項目、またはデータ項目の位置を上へ移動します。</p>
下へ	<p>選択されている業務、ヘッダ項目、またはデータ項目の位置を下へ移動します。</p>
削除	<p>選択されている業務、ヘッダ項目、またはデータ項目を削除します。</p>

### 4.4.2.3. プロパティエリア

業務ツリー上で選択されている項目(共通パラメータ、各業務など)のパラメータを表示します。  
業務ツリー上で選択されている項目によって、表示される内容は異なります。

#### 1. 共通パラメータ

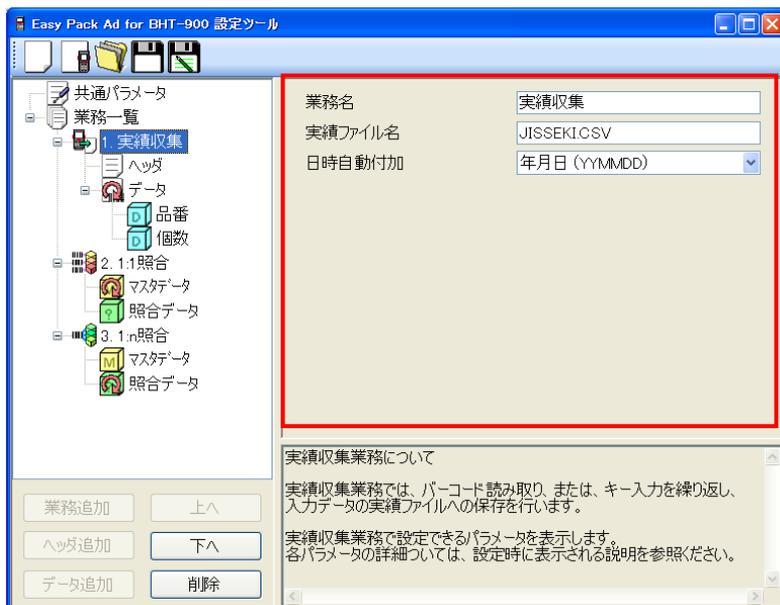


共通パラメータでは、以下のパラメータを設定します。

パラメータ	詳細
オートパワーオフ時間 [秒]	BHT が自動的に電源オフするまでの時間を設定します。 (一定時間キー操作がないときなどに、自動的に電源オフします。)  0 : オートパワーオフ機能は無効になります。 1 ~ 32767[秒] : 指定した時間でオートパワーオフします。
ブザー/ LCD 画面バックライト設定	「ブザー/バイブレータ」、「LCD 画面バックライト」の動作を設定します。  システム設定値 : BHT のシステム設定値に従います。 個別に設定 : 各デバイスの動作を個別に設定します。
※ ブザー/バイブレータ	ブザー/バイブレータの動作許可を設定します。  システム設定値 : BHT のシステム設定値に従います。 なし : ブザー、バイブレータ共に動作しません。 ブザー : ブザーのみ鳴動します。 バイブレータ : バイブレータのみ鳴動します。 ブザー + バイブレータ : ブザー、バイブレータ共に動作します。
※ ブザー音量	ブザー音量を設定します。  システム設定値 : BHT のシステム設定値に従います。 0(消) : 鳴動しません。 1(小) : 小音量で鳴動します。 2(中) : 中音量で鳴動します。 3(大) : 大音量で鳴動します。
※ LCD 画面バックライト明るさ	LCD 画面バックライト明るさを設定します。  システム設定値 : BHT のシステム設定値に従います。 0(消) : バックライトは点灯しません。 1~5 : バックライトの明るさを 5 段階で設定します。 ※値が大きくなるほどバックライトは明るくなります。
※ LCD 画面バックライト点灯時間	バックライトが自動的に消灯するまでの時間を設定します。 (一定時間キー操作がないと、バックライトは自動的に消灯します。)  システム設定値 : BHT のシステム設定値に従います。 0 : バックライトは点灯しません。 5~30[秒] : 指定した時間でバックライトが消灯します。

※ 「ブザー/LCD 画面バックライト設定」に「個別に設定」が指定されているとき表示されます。

## 2. 実績収集業務



実績収集業務では、以下のパラメータを設定します。

パラメータ	詳細
業務名	<p>業務名を設定します。</p> <p>業務名は全角 7 文字(半角 14 文字)以内で設定してください。</p> <p>業務名に「"」は使用できません。</p>
実績ファイル名	<p>実績収集業務の収集結果を保存する実績ファイル名を設定します。</p> <p>実績ファイル名は、拡張子までを 8 文字以内、拡張子には、「.CSV」または「.TXT」を指定してください。</p> <p>また、実績ファイル名には、以下の文字は使用できません。  「 」(スペース)、「"」、「*」、「+」、「,」、「/」、「:」、「;」、「&lt;」、「=」、「&gt;」、「?」、「[」、「¥」、「]」、「{」、「}」</p>
日時自動付加	<p>収集データに自動的に日時を付加するかを設定します。</p> <p>なし : 日時を付加しません。</p> <p>年月日 (YYMMDD) : 年 2 桁、月 2 桁、日 2 桁で日時を付加します。</p> <p>年月日 (YYYYMMDD) : 年 4 桁、月 2 桁、日 2 桁で日時を付加します。</p> <p>年月日時分 (YYMMDDhhmm) : 年 2 桁、月 2 桁、日 2 桁、時 2 桁、分 2 桁で日時を付加します。</p> <p>年月日時分 (YYYYMMDDhhmm) : 年 4 桁、月 2 桁、日 2 桁、時 2 桁、分 2 桁で日時を付加します。</p> <p>※ 時間は、24 時間表記になります。</p> <p>※ 日時データは、ヘッダ項目よりも前に付加して、保存されます。</p>

### 3. 実績収集業務：ヘッダ情報／データ情報



実績収集業務のヘッダ項目／データ項目では、以下のパラメータを設定します。

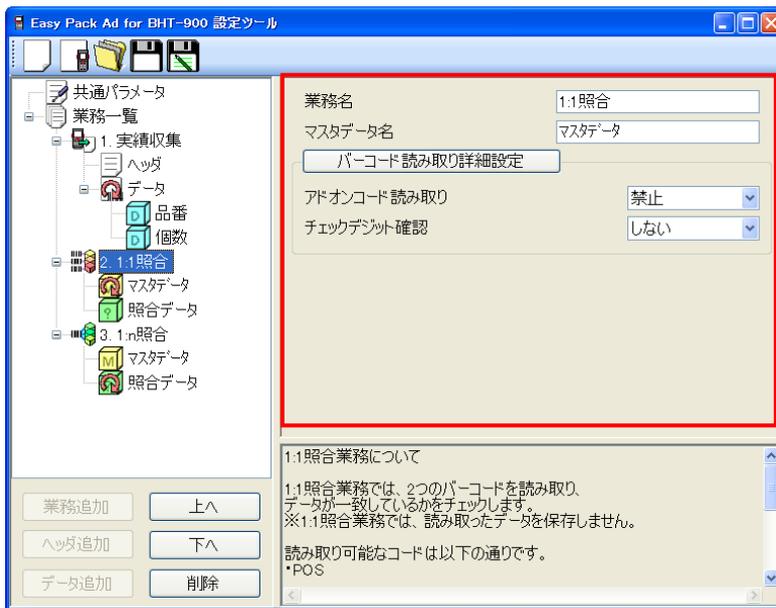
パラメータ	詳細
項目名	<p>項目名を設定します。</p> <p>項目名は全角 8 文字(半角 16 文字)以内で設定してください。</p> <p>項目名に「 」は使用できません。</p>
入力手段	<p>データの入力手段を設定します。</p> <p>バーコード : バーコード読み取りでデータを入力します。</p> <p>キー : キーでデータを入力します。</p> <p>バーコード / キー : バーコード読み取りか、キーでデータを入力します。</p>
読み取りコード	<p>読み取り可能なコードを設定します。</p> <p>POS : POS のみを読み取ります。</p> <p>ITF : ITF のみを読み取ります。</p> <p>STF : STF のみを読み取ります。</p> <p>CODABAR(NW-7) : CODABAR(NW-7)のみを読み取ります。</p> <p>CODE39 : CODE39 のみを読み取ります。</p> <p>CODE93 : CODE93 のみを読み取ります。</p> <p>CODE128 : CODE128 のみを読み取ります。</p> <p>RSS(GS1 DataBar) : RSS(GS1 DataBar)のみを読み取ります。</p> <p>全コード : 上記の全てのバーコードを読み取ります。</p>
重複登録	<p>データ入力時に、過去の入力データとの重複をチェックします。</p> <p>重複チェックは、同一入力項目内でのみ、有効です。</p> <p>許可 : 入力データの重複を許可します。</p> <p>禁止 : 入力データの重複を禁止します。</p>
最小入力桁数	<p>入力最小桁数を設定します。</p> <p>1～99 桁の範囲で、入力最大桁数以下の桁数を指定してください。</p>
最大入力桁数	<p>入力最大桁数を設定します。</p> <p>1～99 桁の範囲で、入力最小桁数以上の桁数を指定してください。</p>

<p>※ アドオンコード 読み取り</p>	<p>アドオンコードの読み取りを設定します。 ※[POS]のバーコードを読み取るときに有効な設定項目です。</p> <p>許可 : アドオンコードを付加したコードも読み取ります。 禁止 : アドオンコード部分は読み取りません。</p>
<p>※ チェックデジット 確認</p>	<p>チェックデジット確認を設定します。 ※次のバーコードを読み取るときに有効な設定項目です。 [ITF]、[STF]、[CODABAR(NW-7)]、[CODE39]</p> <p>する : チェックデジットが正しいコードのみ読み取ります。 しない : チェックデジットを確認せず読み取ります。</p>
<p>※ スタートキャラ クタ確認</p>	<p>指定したスタートキャラクタのコードのみを読み取ります。 ※[CODABAR(NW-7)]のバーコードを読み取るときに有効な設定項目です。</p> <p>? : どのスタートキャラクタのコードでも読み取ります。 A : スタートキャラクタが[A]のコードのみ読み取ります。 B : スタートキャラクタが[B]のコードのみ読み取ります。 C : スタートキャラクタが[C]のコードのみ読み取ります。 D : スタートキャラクタが[D]のコードのみ読み取ります。</p>
<p>※ ストップキャラ クタ確認</p>	<p>指定したストップキャラクタのコードのみを読み取ります。 ※[CODABAR(NW-7)]のバーコードを読み取るときに有効な設定項目です。</p> <p>? : どのストップキャラクタのコードでも読み取ります。 A : ストップキャラクタが[A]のコードのみ読み取ります。 B : ストップキャラクタが[B]のコードのみ読み取ります。 C : ストップキャラクタが[C]のコードのみ読み取ります。 D : ストップキャラクタが[D]のコードのみ読み取ります。</p>

※ プロパティ画面上の「バーコード読み取り詳細設定」ボタンをクリックすると表示されます。

※ 「読み取りコード」で指定されたコードタイプによって、表示される内容が異なります。

#### 4. 1:1 照合業務 / 1:n 照合業務



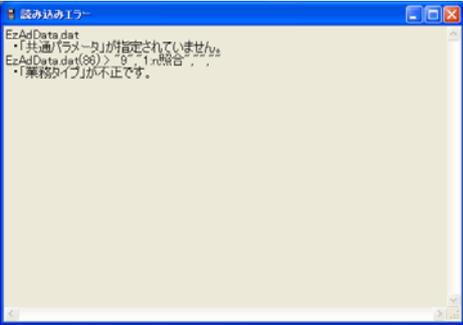
1:1 照合業務、1:n 照合業務では、以下のパラメータを設定します。

パラメータ	詳細
業務名	業務名を設定します。 業務名は全角 7 文字(半角 14 文字)以内で設定してください。 業務名に「 」は使用できません。
マスターデータ名	マスターデータ名を設定します。 マスターデータ名は最大全角 8 文字、半角 16 文字で設定してください。 マスターデータ名に「 」は使用できません。
※ アドオンコード読み取り	アドオンコードの読み取りを設定します。 ※[POS]のバーコードを読み取るときに有効な設定項目です。  許可 : アドオンコードを付加したコードも読み取ります。 禁止 : アドオンコード部分は読み取りません。
※ チェックデジット確認	チェックデジット確認を設定します。 ※次のバーコードを読み取るときに有効な設定項目です。 [ITF]、[STF]、[CODABAR(NW-7)]、[CODE39]  する : チェックデジットが正しいコードのみ読み取ります。 しない : チェックデジットを確認せず読み取ります。

※ プロパティ画面上の「バーコード読み取り詳細設定」ボタンをクリックすると表示されます。

### 4.4.3. 業務ファイルの読み込み

設定ツールに業務ファイルを読み込み手順は、以下の通りです。

手順	
<p>(1) ツールバーの「」（業務ファイルを開く）をクリックします。</p>	<p>以下の画面のダイアログが表示されます。</p> 
<p>(2) 業務ファイル（「EzAdData.dat」または、別のファイル名）を選択して、開きます。</p>	<p>業務ファイルが正常に読み込んだ場合、以下のように設定ツールに業務が表示されます。</p>  <p>業務ファイルが正常に読み込めなかった場合、以下の読み込みエラーダイアログが表示されます。 (読み込みエラーダイアログについては、「<a href="#">読み込みエラーダイアログについて</a>」を参照してください。)</p> 

■読み込みエラーダイアログについて

設定ツールで業務ファイルを読み込むとき、フォーマット不正、設定値不正など、業務ファイルの内容が不正な場合、ダイアログに警告メッセージを表示します。

読み取りエラーダイアログに表示される警告メッセージには、以下のものがあります。

警告メッセージ	対処				
1行の長さが、350バイトを超えています。	業務ファイルの1行の長さは、350バイトまでです。 350バイトを超える行は、設定ツールまたは業務アプリでは正常に読み込めません。				
[COMMON]タグが見つかりません。	業務ファイル内に[COMMON]タグが見つかりません。 業務ファイルに[COMMON]タグは必須です。 設定ツールは、[COMMON]タグが見つからない場合、共通パラメータに以下の値に置き換えます。 <table border="1"> <tr> <td>オートパワーオフ時間</td> <td>180秒</td> </tr> <tr> <td>ブザー／ LCD画面バックライト設定</td> <td>システム設定値に従う</td> </tr> </table>	オートパワーオフ時間	180秒	ブザー／ LCD画面バックライト設定	システム設定値に従う
オートパワーオフ時間	180秒				
ブザー／ LCD画面バックライト設定	システム設定値に従う				
「共通パラメータ」が指定されていません。	業務ファイル内の[COMMON]タグの後に、共通パラメータが指定されていません。 設定ツールは、共通パラメータが指定されていない場合、以下の値に置き換えます。 <table border="1"> <tr> <td>オートパワーオフ時間</td> <td>180秒</td> </tr> <tr> <td>ブザー／ LCD画面バックライト設定</td> <td>システム設定値に従う</td> </tr> </table>	オートパワーオフ時間	180秒	ブザー／ LCD画面バックライト設定	システム設定値に従う
オートパワーオフ時間	180秒				
ブザー／ LCD画面バックライト設定	システム設定値に従う				
[MENU]タグが見つかりません。	業務ファイル内に[MENU]タグが見つかりません。 設定ツールは、業務ファイルに[MENU]タグがないため、業務なしで読み込みを終了します。				
「業務メニューパラメータ」が指定されていません。	業務ファイル内の[MENU]タグの後に、「業務メニューパラメータ」がありません。 設定ツールは、「業務メニューパラメータ」がないため、読み込みを終了します。				
「業務タイプ」が不正です。	業務メニューパラメータの「業務タイプ」の値が不正です。 業務タイプに指定可能な値は、「0」(実績収集業務)、「1」(1:1照合業務)、「2」(1:n照合業務)です。 設定ツールは、「業務タイプ」に不正な値が指定されている場合、その業務メニューパラメータは無視します。				
「業務名」が不正です。	業務メニューパラメータの「業務名」の値が不正です。 「業務名」は、全角7文字(半角14文字)以内で指定する必要があります。 設定ツールは、業務名に不正な値が指定されている場合、全角7文字(半角14文字)までを業務名として扱います。				
「実績ファイル名」が不正です。	業務メニューパラメータの実績ファイル名が不正です。 実績ファイル名は、拡張子までを8文字以内、拡張子には、「.CSV」または「.TXT」を指定する必要があります。 また、以下の文字は指定できません。 「 」(スペース)、「"」、「*」、「+」、「,」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「[」、「¥」、「]」、「{」、「}」 設定ツールは、実績ファイル名に不正な値が指定されている場合、実績ファイル名は空になります。				
[WORK_xxx]タグが見つかりません。 (xxx：業務番号)	項目リストパラメータのタグが見つかりません。 設定ツールは、項目リストパラメータがないため、実績収集業務の場合は、ヘッダ項目なし、データ項目なしで読み込み、1:1照合業務、1:n照合業務の場合は、デフォルトのマスタデータを指定して読み込みます。				

<p>[WORK_xxx]タグの「項目リストパラメータ」が指定されていません。 (xxx : 業務番号)</p> <p>「データ項目」の設定値がありません。</p>	<p>項目リストパラメータのタグの後に、項目リストパラメータが指定されていません。</p> <p>設定ツールは、項目リストパラメータがないため、実績収集業務の場合は、ヘッダ項目なし、データ項目なしで読み込み、1:1 照合業務、1:n 照合業務の場合は、デフォルトのマスタデータを指定して読み込みます。</p> <p>実績収集業務の項目リストパラメータに「データ項目」の設定値がありません。</p> <p>実績収集業務には、1~10 件の「データ項目」が必要です。</p>
<p>「マスタデータ項目」の設定値がありません。</p>	<p>1:1 照合業務、1:n 照合業務の項目リストパラメータに「マスタデータ項目」の設定値がありません。</p> <p>1:1 照合業務、1:n 照合業務には、1 件の「マスタデータ項目」が必要です。</p>
<p>「項目タイプ」が不正です。</p>	<p>項目リストパラメータの「項目タイプ」が不正です。</p> <p>「項目タイプ」には、「H」(ヘッダ)、「D」(データまたは、マスタデータ)のみ指定可能です。</p> <p>設定ツールは、この項目リストパラメータは無視されます。</p>
<p>「項目名」が不正です。</p>	<p>項目リストパラメータの「項目名」に不正な値が指定されています。</p> <p>「項目名」は、全角 8 文字(半角 16 文字)以内で指定する必要があります。</p> <p>設定ツールは、項目名に不正な値が指定されている場合、全角 8 文字(半角 16 文字)までを「項目名」として扱います。</p>
<p>設定ツールでは、読み込めない「読み取り設定値」が指定されています。</p>	<p>項目リストパラメータの「読み取り設定値」に設定ツールが読み込めない値が指定されています。</p> <p>読み取りコードに詳細情報が追加されている場合、設定ツールでは読み込めません。</p> <p>設定ツールは、デフォルト(全コード)として読み込みます。</p>
<p>項目数が不正です。</p>	<p>パラメータの項目数が不足しています。</p> <p>設定ツールは、読み込み可能なパラメータまでを読み込みます。</p> <p>例) 共通パラメータ : "180","3","3"  オートパワーオフ時間 : 180 秒  ブザー/バイブレータ : 3(ブザー+バイブレータ)  ブザー音量 : 3(大)  LCD 画面バックライト明るさ : -1【デフォルト】  LCD 画面バックライト点灯時間 : -1【デフォルト】</p>
<p>指定された値に、範囲外のものがあります。</p>	<p>パラメータの設定値に範囲外のものがあります。</p>

<p>業務が 11 件以上あります。 11 件目以降の業務は無視します。</p>	<p>「業務メニューパラメータ」が 11 件以上あります。 業務数は、最大 10 件です。 設定ツールは、11 件目以降の「業務メニューパラメータ」は無視します。</p>
<p>実績収集業務([WORK_xxx])のデータ項目が 11 件以上あります。 11 件目以降のデータ項目は無視します。 (xxx : 業務番号)</p>	<p>「項目リストパラメータ」(実績収集業務)のデータ項目が 11 件以上あります。 実績収集業務のデータ項目数は、最大 10 件です。 設定ツールは、実績収集業務の 11 件目以降の「項目リストパラメータ」のデータ項目は無視します。</p>
<p>実績収集業務([WORK_xxx])のヘッダ項目が 11 件以上あります。 11 件目以降のヘッダ項目は無視します。 (xxx : 業務番号)</p>	<p>「項目リストパラメータ」(実績収集業務)のヘッダ項目が 11 件以上あります。 実績収集業務のヘッダ項目数は、最大 10 件です。 設定ツールは、実績収集業務の 11 件目以降の「項目リストパラメータ」のヘッダ項目は無視します。</p>
<p>照合業務([WORK_xxx])のマスターデータ項目が 2 件以上あります。 2 件目以降のマスターデータ項目は無視します。 (xxx : 業務番号)</p>	<p>「項目リストパラメータ」(1:1 照合業務または、1:n 照合業務)のマスターデータ項目が 2 件以上あります。 1:1 照合業務または、1:n 照合業務のマスターデータ項目数は、1 件です。 設定ツールは、1:1 照合業務または、1:n 照合業務の 2 件目以降のマスターデータ項目は無視します。</p>
<p>照合業務([WORK_xxx])にヘッダ項目は指定できません。 ヘッダ項目は無視します。 (xxx : 業務番号)</p>	<p>「項目リストパラメータ」(1:1 照合業務または、1:n 照合業務)にヘッダ項目が指定されています。 1:1 照合業務または、1:n 照合業務にヘッダ項目は指定できません。 設定ツールは、1:1 照合業務または、1:n 照合業務のヘッダ項目は無視します。</p>

#### 4.4.4. 業務ファイルの保存

業務ファイルの保存には、以下の2通りの方法があります。

- 上書き保存
- 名前を付けて保存

業務ファイルの上書き保存の手順は、以下の通りです。

手順	
(1)	<p>ツールバーの「」（業務ファイルの上書き保存）をクリックします。</p> <p>業務ファイルが保存されます。</p> <p>新規作成など、ファイル名が指定されていない場合、以下のダイアログが表示されます。</p>  <p>ファイル名を入力し、[OK]ボタンをクリックすると、業務ファイルが保存されます。</p>

業務ファイルの名前を付けて保存する手順は、以下の通りです。

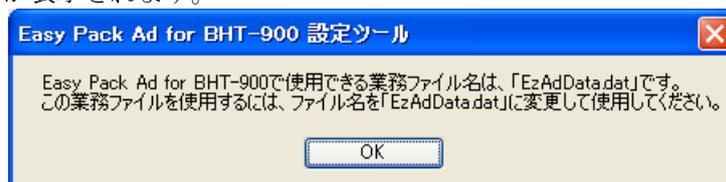
手順	
(1)	<p>ツールバーの「」（業務ファイルの名前を付けて保存）をクリックします。</p> <p>以下のダイアログが表示されます。</p>  <p>ファイル名を入力し、[OK]ボタンをクリックすると、業務ファイルが保存されます。</p>

#### 注意事項

上書き保存、名前を付けて保存を行うとき、ファイル名が「EzAdData.dat」以外の場合、BHTに転送する時に、「EzAdData.dat」にファイル名を変更して、転送してください。

（「Easy Pack Ad for BHT-900」の業務アプリが業務ファイルとして扱えるファイル名は、「EzAdData.dat」固定です。）

上書き保存、名前を付けて保存の際、「EzAdData.dat」以外のファイル名が指定された場合、以下の警告メッセージが表示されます。



## 4.5. 【STEP5】ファイル転送ツールの使用方法

「Easy Pack Ad ファイル転送ツール」は、BHT で収集した実績ファイルを PC に転送したり、業務ファイルを BHT に転送したりするツールです。

### 4.5.1. ファイル転送ツールとは

ファイル転送ツールは、BHT を PC 上の仮想フォルダに見立てて、Windows のエクスプローラのファイルコピー／移動／削除などの機能を仮想的に実現する機能です。

(ファイル転送ツールは、PC 上の仮想フォルダへのアクセスを検出し、ファイルの送信／受信／削除を行います。)

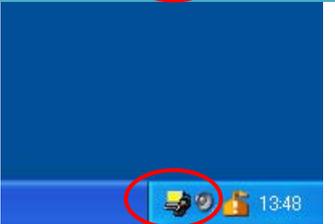
ファイル転送ツールを使用して、以下の処理を実現します。

- (1) 実績ファイルの転送 (PC←BHT : PC のファイル受信)  
BHT でデータ収集した、実績収集業務の実績ファイルを、Windows エクスプローラ上でドラッグ&ドロップすることによって、任意のフォルダに転送できます。
- (2) 業務ファイルの転送 (PC→BHT : PC のファイル送信)  
設定ツールで作成および編集した業務ファイルを、Windows エクスプローラ上でドラッグ&ドロップすることによって、BHT に転送できます。
- (3) 通信ポート自動設定  
接続されている BHT を自動で検出して、COM ポート番号と通信速度を自動で決定します。

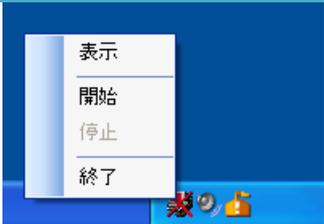
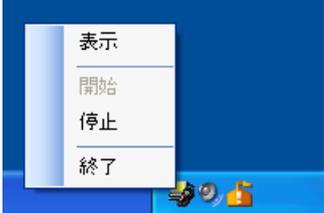
### 4.5.2. ファイル転送ツールの説明

ファイル転送ツールを起動すると、Windows のタスクバーのタスクアイコンに格納されます。

タスクアイコンは、ファイル転送ツールの状態が表示が異なります。

状態		アイコン
BHT との接続待ち受け停止中		
BHT との接続待ち受け開始中	未接続	
	接続中	

タスクアイコンを右クリックすると以下のメニューが表示されます。

状態	アイコン
BHT との接続待ち受け停止中	
BHT との接続待ち受け開始中	

メニューは、以下の動作をします。

メニュー	動作
表示	ファイル転送ツールのメイン画面を表示します。
開始	BHT との接続待ち受けを開始します。 (BHT との接続待ち受けが停止しているとき、メニューが有効になります。)
停止	BHT との接続待ち受けを停止します。 (BHT との接続待ち受けが開始しているとき、メニューが有効になります。)
終了	ファイル転送ツールを終了します。
	<p><b>Point</b></p> <p>ファイル転送ツールは、メイン画面の[×]ボタンをクリックしても終了しません。ファイル転送ツールを終了するには、メニューから終了してください。</p>

メイン画面は、以下の画面が表示されます。



BHT との接続待ち受け停止中



BHT との接続待ち受け開始中

		説明
フォルダ		BHT を仮想フォルダとして扱うためのフォルダを指定します。 指定したフォルダを BHT の仮想フォルダとして扱います。 この指定したフォルダに対して、コピー／移動／削除などを行うことで、BHT に対してファイル転送を行います。  [参照]ボタンをクリックすると、フォルダ指定用のフォルダダイアログを使用して、フォルダを指定できます。
通信設定	通信ポート	ファイル転送ツールが使用する通信ポート、通信速度を指定します。
	通信速度	
[自動接続モード]ボタン		通信ポート、通信速度を自動で設定し、ファイル転送を開始します。 ポートの自動接続については、「 <a href="#">4.5.3. ポート自動設定について</a> 」を参照してください。
[開始]ボタン		BHT との接続待ち受けを開始します。
[停止]ボタン		BHT との接続待ち受けを停止します。

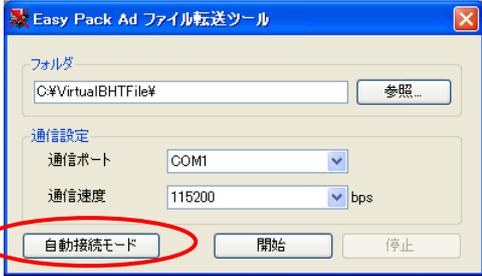
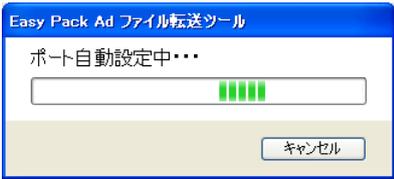
### 4.5.3. ポート自動設定について

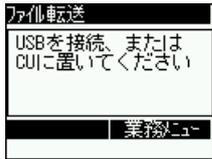
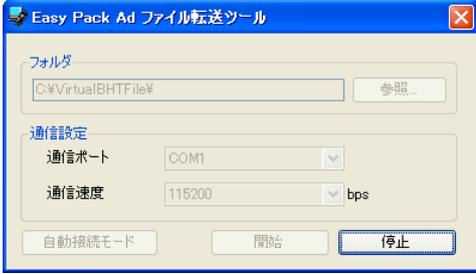
ファイル転送ツールは、ファイル転送ツールと BHT が通信する通信ポート(COM1・・・)、および通信速度を自動的に設定して使用できます。

通信ポート自動設定は、以下のタイミングで実施されます。

- ・ファイル転送ツールのメイン画面を表示し、「自動接続モード」ボタンをクリックしたとき。

通信ポートの自動設定の手順は、以下の通りです。

PC 側	BHT 側
<p>(1) 通信ポート自動設定を開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ファイル転送ツールのメイン画面上の「自動接続モード」ボタンをクリックします。</li></ul>  <p>The screenshot shows a dialog box titled 'Easy Pack Ad ファイル転送ツール'. It has a 'フォルダ' section with a text box containing 'C:\VirtualBHTFile¥' and a '参照...' button. Below that is a '通信設定' section with '通信ポート' set to 'COM1' and '通信速度' set to '115200 bps'. At the bottom, there are three buttons: '自動接続モード' (circled in red), '開始', and '停止'.</p>	
<p>(2) 以下のダイアログが表示されます。</p>  <p>The screenshot shows a dialog box titled 'Easy Pack Ad ファイル転送ツール'. The main text is 'ポート自動設定中...' with a progress bar below it. At the bottom right is a 'キャンセル' button.</p> <p><b>Point</b> ダイアログが表示されたら、BHT 側を準備します。</p>	
	<p>(3) 「Easy Pack Ad for BHT-900」を起動し、業務メニューを表示します。</p>  <p>The screenshot shows a terminal window with a menu. The title is '業務メニュー'. The menu items are: 1.実績収集, 2.1:1照合, 3.1:n照合, and 転送.</p> <p><b>Point</b> 実績収集中の場合、[M2]キーを押すことで、業務メニューに戻ります。</p>

	<p>(4) [M1]キーを押下すると、以下の画面が表示されます。</p>  <p>上記の状態、PC に接続された CU 上に <b>BHT</b> を置き、通信ポート自動設定の完了を待ちます。</p> 
<p>(5) BHT を CU に置くと、使用可能な通信ポート、通信速度を検索します。使用可能な通信ポート、通信速度が見つかったら、以下の画面を表示し、接続を開始します。</p>  <p><u>Point</u> 見つからなかった場合、以下のダイアログが表示されます。</p> 	<p>(5) PC 側で通信ポート自動設定が完了したら、以下の画面が表示し、接続を開始します。</p> 

ポート自動設定に失敗した場合は、以下を確認してください。

- 通信速度の確認  
通信ユニット **CU-901(RS-232C)** を使用している場合、BHTの通信速度の設定が **115200bps** に選択されているかを確認してください。  
(CU-901 は、460800bpsに対応していません。)  
BHTの通信速度の設定方法は、「[5.1.2. 通信設定](#)」を参照ください。
- 通信環境の確認  
CU と PC が正常に接続されているかを確認してください。  
通信ユニット **CU-901(RS-232C)** を使用する場合、電源が供給されているかを確認してください。  
通信ユニット **CU-921(USB)** を使用する場合、PC に **Active-USB COM Port Driver** が正常にインストールされているかを確認してください。

## 5. その他の機能

### 5.1. BHT アプリ管理者メニュー

業務アプリには、管理者メニューが準備されています。  
管理者メニューには、以下の機能があります。

- 実績ファイル削除  
実績収集業務で収集した実績ファイルを削除します。
- 通信設定  
通信ユニットを使用してファイル転送するときの通信速度を設定します。
- バージョン情報  
「Easy Pack Ad for BHT-900」のバージョン情報を表示します。
- 日時設定  
BHT の日付・時刻を設定します。
- アプリ更新  
「Easy Pack Ad for BHT-900」のメインアプリを更新します。

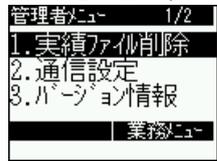
### 5.1.1. 実績ファイル削除

実績収集業務で収集した実績ファイルを削除します。

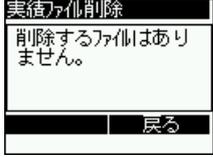
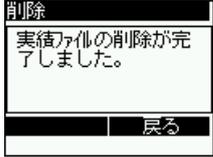
実績ファイルの削除は、以下の2通りの方法があります。

- 指定ファイル削除  
指定した実績収集業務の実績ファイルを削除します。
- 全ファイル削除  
登録されている実績収集業務のすべての実績ファイルを削除します。

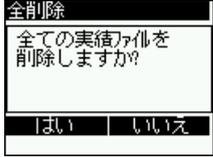
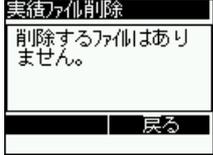
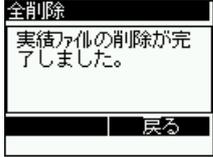
実績ファイルの削除手順は、以下の通りです。

手順			
(1)	「Easy Pack Ad for BHT-900」を起動します。  <u>Point</u> 業務実行中の場合、[M2]キーを押すことで、業務メニューに戻ります。		以下の画面が表示されます。 
(2)	[SF]キーと[M2]キーを同時に押します。	[SF] + [M2]	以下の画面が表示されます。 

■指定した実績ファイルを削除する場合

手順		
(3)	<p>管理者メニュー画面で、数字キーの[1]を押して、画面上の「1.実績ファイル削除」を選択した状態で、エンターキーを押します。</p>	<p>[1] [ENT]</p> <p>以下の画面が表示されます。</p> 
(4)	<p>数字キーの[1]を押して、画面上の「1.削除」を選択した状態で、エンターキーを押します。</p>	<p>[1] [ENT]</p> <p>以下の画面が表示されます。</p>  <p>※ 複数の実績ファイルがある場合、画面上に実績ファイル名が複数個表示されます。</p> <p><u>Point</u> 実績ファイルがない場合、以下の画面が表示されます。 <b>赤 LED</b> が点灯し、ブザーが中音で「ピッピッピッ」と鳴動します。</p> 
(5)	<p>数字キーの[1]を押して、画面上の「1.実績収集」を選択した状態で、エンターキーを押します。</p> <p><u>Point</u> 複数個の実績ファイルがある場合、[F5]キー、[F6]キーを押して、削除する実績ファイルを選択します。</p>	<p>[ENT]</p> <p>以下の確認画面が表示されます。</p> 
(6)	<p>実績ファイルを削除する場合、[M1]キーを押します。</p> <p><u>Point</u> 削除をやめる場合は、[M2]キーを押します。</p>	<p>[M1]</p> <p>以下の画面が表示されます。</p>  <p><u>Point</u> 実績ファイルの削除が完了すると、<b>青 LED</b> が点灯し、ブザーが高音で「ピッ」と鳴動します。</p>
(7)	<p>[M2]キーを押すと、実績ファイル削除メニューに戻ります。</p>	<p>[M2]</p> <p>以下の画面が表示されます。</p> 

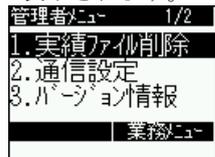
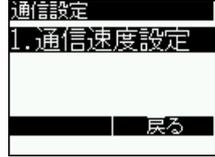
■すべての実績ファイル削除する場合

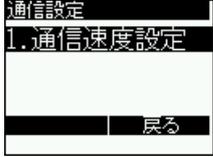
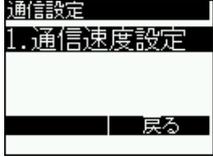
手順			
(3)	管理者メニュー画面で、数字キーの[1]を押して、画面上の「1.実績ファイル削除」を選択した状態で、エンターキーを押します。	[1] [ENT]	以下の画面が表示されます。 
(4)	数字キーの[2]を押して、画面上の「2.全削除」を選択した状態で、エンターキーを押します。	[2] [ENT]	以下の画面が表示されます。   <u>Point</u> 実績ファイルがない場合、以下の画面が表示されます。 <b>赤 LED</b> が点灯し、ブザーが中音で「ピッピッピッ」と鳴動します。 
(5)	実績ファイルを削除する場合、[M1]キーを押します。  <u>Point</u> 削除をやめる場合は、[M2]キーを押します。	[M1]	以下の画面が表示されます。   <u>Point</u> 実績ファイルの削除が完了すると、 <b>青 LED</b> が点灯し、ブザーが高音で「ピッ」と鳴動します。
(6)	[M2]キーを押すと、実績ファイル削除メニューに戻ります。	[M2]	以下の画面が表示されます。 

## 5.1.2. 通信設定

通信ユニット(CU-901、CU-921)を使用してファイル転送するときの通信速度を設定します。

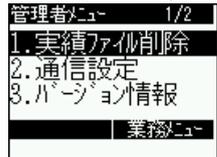
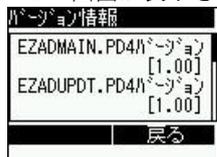
通信速度の設定手順は、以下の通りです

手順			
(1)	「Easy Pack Ad for BHT-900」を起動します。  <u>Point</u> 業務実行中の場合、[M2]キーを押すことで、業務メニューに戻ります。		以下の画面が表示されます。 
(2)	[SF]キーと[M2]キーを同時に押します。	[SF] + [M2]	以下の画面が表示されます。 
(3)	数字キーの[2]キーを押して、画面上の「2.通信設定」を選択し、エンターキーを押します。	[2] [ENT]	以下の画面が表示されます。 
(4)	エンターキーを押します。	[ENT]	以下の画面が表示されます。   ※ 設定されている通信速度によって、選択状態は異なります。
(5)	[F7]キー、または[F8]キーを押して、通信速度を選択します。  <u>Point</u> 通信ユニット <b>CU-901(RS-232C)</b> を使用する場合、通信速度は、必ず <b>115200bps</b> を選択してください。 (CU-901 は、460800bps に対応していません。)  通信ユニット <b>CU-921(USB)</b> を使用する場合、通信速度を 460800bps に設定することで、ファイル転送時間を短縮できます。	[F7] Or [F8]	[F7]キー、[F8]キーを押すと、通信速度の選択状態が切り替わります。  通信速度 115200bps を選択   通信速度 460800bps を選択 

(6)	[M2]キーを押します。	[M1]	<p>[M1]キーを押すと、通信速度を設定し、以下の画面を表示します。</p>  <p><u>Point</u> 通信速度の設定が完了すると、<b>青LED</b>が点灯し、ブザーが高音で「ピッ」と鳴動します。</p>
	通信速度の設定を中止する場合、[M2]キーを押します。	[M2]	<p>[M2]キーを押すと、通信速度の設定を中止し、以下の画面を表示します。</p> 

### 5.1.3. バージョン情報

「Easy Pack Ad for BHT-900」のバージョン情報を表示します。  
バージョン情報の表示手順は、以下の通りです。

手順		
(1)	「Easy Pack Ad for BHT-900」を起動します。  <u>Point</u> 業務実行中の場合、[M2]キーを押すことで、業務メニューに戻ります。	以下の画面が表示されます。 
(2)	[SF]キーと[M2]キーを同時に押します。	[SF] + [M2]  以下の画面が表示されます。 
(3)	数字キーの[3]を押し、画面上の「3.バージョン情報」を選択し、エンターキーを押します。	[3] [ENT]  以下のバージョン画面が表示されます。   ※ 表示されるバージョンは、使用環境によって異なります。 ※ 終了するには、[M2]キーを押してください。  <u>Point</u> [F5]、[F6]キーで、画面をスクロールすることで、すべての項目を確認することができます。

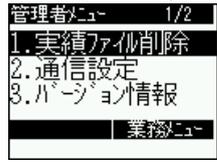
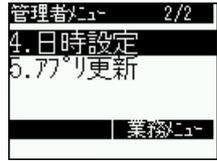
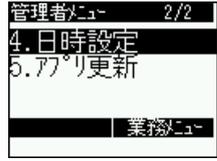
#### 【参考】バージョン情報で確認できる項目

表示名	説明
<b>EZADMAIN.PD4</b> バージョン	業務アプリのバージョン情報を表示します。
<b>EZADUPDT.PD4</b> バージョン	アップデート用アプリのバージョン情報を表示します。
<b>EZADMAIN.CFG</b> バージョン	定義ファイルのバージョン情報を表示します。
システムバージョン	BHTのシステムバージョン情報を表示します。
装置番号	BHTの装置番号(16文字)を表示します。
シリアル番号	BHTのシリアル番号(6文字)を表示します。

### 5.1.4. 日付設定

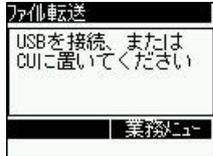
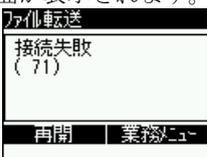
BHT の日付・時刻を設定します。

日付・時刻の設定手順は、以下の通りです。

手順		
(1)	「Easy Pack Ad for BHT-900」を起動します。  <u>Point</u> 業務実行中の場合、[M2]キーを押すことで、業務メニューに戻ります。	以下の画面が表示されます。 
(2)	[SF]キーと[M2]キーを同時に押します。	[SF] + [M2] 以下の画面が表示されます。 
(3)	数字キーの[4]を押し、「4.日時設定」を選択し、エンターキーを押します。  <u>Point</u> 日時設定は、次の画面にあります。メニュー画面の切り替えは、[F5]キー、[F6]キーで行います。	[4] [ENT] 以下の画面が表示されます。 
(4)	数字キーを押して、日時を入力します。	数字キー  
(5)	[M1]キーを押します。	[M1] [M1]キーを押すと、日付・時刻を設定し、以下の画面が表示されます。   <u>Point</u> 日付・時刻の設定が完了すると、 <b>青LED</b> が点灯し、ブザーが高音で「ピッ」と鳴動します。
	日付・時刻の設定を中止する場合、[M2]キーを押します。	[M2] [M2]キーを押すと、日付・時刻の設定を中止、以下の画面を表示します。 

## 5.2. 通信メニュー

PC が BHT から実績収集ファイルを取得するには、通信メニューを使用します。  
通信メニューに表示される内容は、通信方法によって異なります。

	直接接続	通信ユニット使用
(1) 初期画面	通信メニューを起動すると、以下の画面が表示されます。 	
(2) PC と接続	<p>BHT と PC を USB で接続すると、以下の画面が表示されます。</p>  <p>接続が完了すると以下の画面が表示されます。</p> 	<p>BHT を通信ユニットにのせると、以下の画面が表示されます。</p>  <p>接続が完了すると以下の画面が表示されます。</p> 
(3) ファイル転送中	※1	<p>BHT と PC がファイル転送中は、以下の画面が表示されます。</p>  <p>[M2]キーを押すと、転送が中断され、以下のエラー画面が表示されます。</p> 

※1 直接接続の場合、ファイル転送中、エラー発生画面はありません。

<p>(4)エラー発生</p>	<p>※1</p>	<p>接続中に何らかのエラーが発生した場合、以下の画面が表示されます。</p>  <p>(xx:BHT の実行エラー)</p> <p>[M1]キーを押すと、接続を再開できます。以下の画面が表示されます。</p> 
	<p>※1 直接接続の場合、ファイル転送中、エラー発生画面はありません。</p>	

## 6. トラブルシューティング

「Easy Pack Ad for BHT-900」で発生するエラーとその対処方法を説明します。

### 6.1. BHT 側アプリ(業務アプリ)でのエラー

業務アプリで、エラーが発生した場合、BHT 画面に以下のメッセージが表示されます。

発生タイミング	エラー内容(表示内容)	対処方法
起動時	Easy Pack Ad for BHT-900 設定ツールを起動し、パラメータを確認してください。	業務ファイルの内容が不正です。業務ファイルの内容を修正してください。業務ファイルの内容を修正するには、「Easy Pack Ad for BHT-900 設定ツール」を起動し、業務ファイルを読み込んでください。設定ツールが業務ファイルの不正なパラメータを警告します。設定ツールを使用した業務ファイルの読み込み方法は、「 <a href="#">4.4.3. 業務ファイルの読み込み</a> 」を参照してください。
実績収集業務 実行中	実績ファイルの書き込みレコード数が、99999 件になりました。実績ファイルを PC へ転送した後、削除してください。	実績ファイルの上限に達しました。実績ファイルを PC に転送し、実績ファイルを削除してください。実績ファイルの転送方法は、「 <a href="#">4.2.2.2. 実績ファイルの取得</a> 」を参照してください。実績ファイルの削除方法は、「 <a href="#">5.1.1. 実績ファイル削除</a> 」を参照してください。
	BHT の空きメモリが足りません。	BHT に、入力データを保存するメモリ(領域)が足りません。実績ファイルを PC に転送し、実績ファイルを削除してください。実績ファイルの転送方法は、「 <a href="#">4.2.2.2. 実績ファイルの取得</a> 」を参照してください。実績ファイルの削除方法は、「 <a href="#">5.1.1. 実績ファイル削除</a> 」を参照してください。
	実績ファイルのフォーマットが業務と一致しません。	現在の実績収集業務で使用している実績ファイルが、他の業務で既に使用されています。実績ファイルを PC に転送し、実績ファイルを削除してください。実績ファイルの転送方法は、「 <a href="#">4.2.2.2. 実績ファイルの取得</a> 」を参照してください。実績ファイルの削除方法は、「 <a href="#">5.1.1. 実績ファイル削除</a> 」を参照してください。
ファイル転送中	接続失敗	「Easy Pack Ad 転送ツール」を使用してファイル転送を行っている場合、ファイル転送に失敗しました。通信環境に問題がある可能性があります。通信環境の確認は、「 <a href="#">4.5.3. 通信ポート自動設定について</a> 」を参照してください。
アプリ更新	EZADUPDT.PD4 が見つかりません。EZADUPDT.PD4 をダウンロードしてください。	アップデート用アプリ「EzAdUpdt.pd4」が見つかりません。転送メニューで、「EzAdUpdt.pd4」をダウンロードしてください。転送メニューの詳細は、「 <a href="#">5.2. 通信メニュー</a> 」を参照してください。

## 6.2. 設定ツールでのエラー

設定ツールでエラーが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

発生タイミング	エラー内容(表示内容)	対処方法
業務ファイル読み込み時	読み込みエラー	業務ファイル内容に不備があります。方法は、「 <a href="#">4.4.3. 業務ファイルの読み込み</a> 」を参照してください。
実績収集業務編集時	ファイルの拡張子が不正です。「.CSV」、「.TXT」のみ使用できます。	実績収集業務の「実績ファイル名」に指定されているファイル名の拡張子が不正です。実績ファイルに指定できる拡張子は、「.CSV」「.TXT」の2つです。
	ファイル名が指定されていません。ファイル名を入力してください。	実績収集業務の「実績ファイル名」に指定されているファイル名が空になっています。実績ファイル名を入力してください。
	ファイル名が不正です。ファイル名の先頭文字に「.(ピリオド)」は使用できません。	実績収集業務の「実績ファイル名」に指定されているファイル名の先頭文字に「.(ピリオド)」が指定されています。実績ファイル名の先頭には、「.(ピリオド)」は指定できないため、別のファイル名を入力してください。
	ファイル名が不正です。ファイル名に複数の「.(ピリオド)」は使用できません。	実績収集業務の「実績ファイル名」に指定されているファイル名に複数の「.(ピリオド)」が指定されています。実績ファイル名に、別のファイル名を入力してください。
	指定されたファイル名は、既に別の業務で使用されています。別のファイル名を使用してください。	実績収集業務の「実績ファイル名」に指定されているファイル名が、既に別の業務で使用されています。「Easy Pack Ad for BHT-900」では、異なる業務で同じ実績ファイルを使用することはできません。実績ファイル名に、別のファイル名を入力してください。
業務ファイル保存時	業務がありません。業務を追加してください。	業務がありません。業務は1件以上必要です。業務を追加してください。
	実績収集業務にデータ項目がありません。実績収集業務には、1件以上のデータ項目を追加してください。	実績収集業務にデータ項目がありません。実績収集業務には、データ項目が1件以上必要です。実績収集業務に、データ項目を追加してください。
	実績収集業務の実績ファイル名が不正です。実績ファイル名を確認してください。	実績収集業務の実績ファイル名が不正です。実績収集業務の実績ファイル名を確認してください。 ※ 業務ファイルを読み込んだとき、不正な実績ファイル名が指定されていて、そのまま保存した時などに表示されます。

### 6.3. ファイル転送ツールでのエラー

ファイル転送ツールでエラーが発生した場合、以下のようにメッセージダイアログが表示されます。



例：既に通信ツールが起動されている場合。

メッセージの詳細は、以下のようになります。

発生タイミング	エラー内容(表示内容)	対処方法
起動時	既に起動しています。	ファイル転送ツールが既に起動しているときに表示されます。 <b>注意事項</b> ファイル転送ツールを複数個起動できません。
ポート自動設定時	ポートの自動設定に失敗しました。	通信ポート自動設定に失敗したときに表示されます。 通信環境を確認してください。通信環境の確認方法は、「 <a href="#">4.5.3. ポートの自動設定について</a> 」を参照してください。 通信環境を確認後、再度、通信ポート自動設定を実施してください。
BHT との接続開始時	BHT からエラー応答がありました。 以下を確認してください。 ・ サポート対象の BHT であること ・ 動作中のプログラムファイルと同名のファイルでないこと。	BHT からエラー応答がある場合に表示されず。 BHT-900 以外で業務アプリを実行している可能性があります。 業務アプリ("EzAdMain.pd4")の転送メニューでは、"EzAdMain.pd4"は転送できません。 "EzAdMain.pd4"は、アップデート用アプリで転送してください。  また、アップデート用アプリ("EzAdUpdt.pd4")では、"EzAdUpdt.pd4"は転送できません。 "EzAdUpdt.pd4"は、業務アプリの転送メニューで転送してください。
	フォルダの作成に失敗しました。 以下を確認してください。 ・ 指定フォルダ名の長さが 1 文字以上 248 文字未満であること。 ・ : * ? " < >   の文字を使用していないこと。 ・ フォルダにアクセスできる権限が設定されていること。	ファイル転送ツールで指定しているフォルダの作成に失敗した場合に表示されます。 指定しているフォルダ名を確認してください。
	フォルダにアクセスできません。 指定フォルダが使用可能なフォルダか確認してください。	ファイル転送ツールで指定しているフォルダのアクセスに失敗した場合に表示されます。 指定しているフォルダがアクセス可能かどうかを確認してください。
	指定フォルダにファイルが残っています。 ファイルは BHT に送られていない可能性があります。 ファイルを別のフォルダに退避した後、指定フォルダを空にして、BHT を再接続してください。	ファイル転送ツールで指定しているフォルダに前回の接続時のファイルが残っている場合に表示されます。 ファイルが残っている場合、前回の接続が正常に終了していない可能性があります。 残っているファイルを別のフォルダに退避し、指定しているフォルダを空にして、再接続をしてください。 また、必要に応じて、残っているファイルを送ってください。

	<p>通信ポートのオープンに失敗しました。他のアプリケーションでポートが使われている可能性があります。再接続するためには、ポートを使用しているアプリケーションを停止し、再度開始してください。</p>	<p>ファイル転送ツールが使用するポートが、他のアプリケーションで既に使用されているときに表示されます。他のアプリケーションを終了し、再接続してください。</p>
	<p>通信ポートのオープンに失敗しました。無効な通信ポートが選択されている可能性があります。</p> <p>自動接続モードで開始しますか？</p>	<p>ポートの設定が初期状態(未設定の状態)になっています。自動接続モードで、ポートを設定するか、手動でポートの設定を変更し、再接続してください。自動接続モードについては、「<a href="#">4.5.3. ポートの自動設定について</a>」を参照してください。</p>
	<p>通信ポートのオープンに失敗しました。使用できない通信速度が選択されている可能性があります。</p> <p>自動接続モードで開始しますか？</p>	<p>ファイル転送ツールが使用するポートに設定できない通信速度が設定されている時に表示されます。自動接続モードで、ポートを設定するか、手動で通信速度の設定を変更し、再接続してください。自動接続モードについては、「<a href="#">4.5.3. ポートの自動設定について</a>」を参照してください。</p>
	<p>ファイルの転送に失敗しました。(xx) (xx:エラーコード)</p>	<p>BHT との接続処理中、BHT のファイルを受信する際にエラーが発生したときに表示されます。</p>
	<p>通信シーケンスでタイムアウトが発生しました。通信中の BHT が CU から抜かれた可能性があります。</p>	<p>BHT との接続処理中、通信タイムアウトが発生したときに表示されます。 BHT との接続処理中に、BHT が CU から抜かれた可能性があります。 BHT を CU に置き、再接続してください。</p>
	<p>接続をキャンセルしました。</p>	<p>BHT との接続処理中に表示される進捗ダイアログの「キャンセル」ボタンをクリックしたときに表示されます。</p>
BHT との接続中	<p>詳細： フォルダにアクセスできません。指定フォルダが使用可能なフォルダか確認してください。(※1)</p>	<p>BHT との接続中に、ファイル転送ツールで指定しているフォルダのアクセスに失敗した場合には表示されます。 BHT との接続中に、指定しているフォルダのアクセス権が変更された可能性があります。フォルダのアクセス権を確認してください。</p>
	<p>詳細： ファイルにアクセスできません。ファイルやフォルダのアクセス権限を確認してください。(※1)</p>	<p>BHT との接続中に、転送するファイルにアクセスできない場合に表示されます。 BHT との接続中に、転送するファイルのアクセス権が変更された可能性があります。ファイルのアクセス権を確認してください。</p>
	<p>詳細： ファイル名が不正です。以下を確認してください。 ・ファイル名が 8.3 形式であること。 ・拡張子が、".FLD"または".ZIP"ではないこと。(※1)</p>	<p>BHT との接続中に、不正なファイルを作成/コピー/移動した場合に表示されます。 BHT では使用できないファイル名のため、BHT には送れません。</p>
	<p>詳細： 通信シーケンスでタイムアウトが発生しました。通信中に BHT が CU から抜かれました。(※1)</p>	<p>BHT との接続中、通信タイムアウトが発生したときに表示されます。 BHT との接続処理中に、BHT が CU から抜かれた可能性があります。 BHT を CU に置き、再接続してください。</p>
	<p>詳細： ファイルの転送に失敗しました。(xx) (xx:エラーコード) (※1)</p>	<p>BHT との接続中、BHT のファイルを受信する際にエラーが発生したときに表示されます。</p>

	詳細： 接続をキャンセルしました。(※1)	BHT とファイル転送中に表示される進捗ダイアログの「キャンセル」ボタンをクリックしたときに表示されます。
	ファイル名の変更に失敗しました。 ファイル名を元に戻します。	ファイル名の変更に失敗したときに表示されます。ファイル名は元に戻されて、継続してファイル転送を実施します。

※1. メッセージボックスに以下のメッセージが追加されます。

接続が切れました。  
指定フォルダにファイルが残っている場合、ファイルが BHT に送られていない可能性があります。  
ファイルを別のフォルダに退避した後、指定フォルダを空にして、BHT を再接続してください。

## 7. アンインストール

アンインストールするに Windows の「プログラムの追加と削除」で、インストールしたアプリを選択してアンインストールを実行してください。

- Easy Pack Ad for BHT-900 設定ツール
- Easy Pack Ad ファイル転送ツール
- Active USB-COM Port Driver

## 8. 付録

### 8.1. ファイル転送ツールの例外エラー

ファイル転送ツールでは、以下のエラーメッセージが表示されることがあります。

以下のエラーコードが発生した場合、ファイル転送ツールを再起動するか、管理者の方に連絡してください。

エラー内容(表示内容)	
内部要因エラー ファイル転送ツールを再起動してください。	ファイル転送ツール内で意図しない通信エラーが発生しました。 ファイル転送ツールを再起動することで、問題を解決できます。
内部要因エラー 受信データが不正です。 ファイル転送ツールを再起動してください。	
内部要因エラー データ送信に失敗しました。 ファイル転送ツールを再起動してください。	
内部要因エラー 予期せずポートが閉じられました。 ファイル転送ツールを再起動してください。	
内部要因エラー 通信ポートのオープンに失敗しました。 他のアプリケーションでポートが使われている可能性があります。 再接続するためには、ポートを使用しているアプリケーションを停止し、再度開始してください。	ファイル転送ツール内で意図しないポートオープンエラーが発生しました。 指定ポートを別のアプリケーションが使用している可能性があります。 そのアプリケーションを停止し、ファイル転送ツールを再起動することで、問題を解決できます。
内部要因エラー テンポラリフォルダの作成に失敗しました。 管理者に連絡してください。	ファイル転送ツール内で意図しないファイルアクセスエラーが発生しました。 ファイルやフォルダのアクセス権を確認してください。
内部要因エラー テンポラリフォルダにアクセスできません。 管理者に連絡してください。	
内部要因エラー 転送ファイルにアクセスできません。 管理者に連絡してください。	

## 8.2. 業務ファイルについて

「Easy Pack Ad for BHT-900」で使用する業務ファイルは、「Easy Pack Ad for BHT-900 設定ツール」を使わず、テキストエディタなどで直接編集できます。

業務ファイルのフォーマット、値の詳細は、業務ファイルに記述されていますので、その内容に従って編集してください。

### 免責事項(注意事項)

業務ファイルの値に不正値が指定されている場合、「Easy Pack Ad for BHT-900」は予期せぬ動作をする可能性があります。予期せぬ動作でのファイル消失などの責任を負いかねますので、自己責任でお願いします。

BHT Software  
Easy Pack Ad for BHT-900 User's Manual

---

Easy Pack Ad for BHT-900 取扱説明書

2010年 11月 第2版発行  
株式会社デンソーウェーブ

---

- このマニュアルの一部または全部を無断で複製・転載することはお断りします。
- このマニュアルの内容は将来予告なしに変更することがあります。
- このマニュアルを使用した結果の損害については責任を負いかねます。